



KOBELCO KOBE STEELERS SEASON REPORT 2025-26



JAPAN RUGBY LEAGUE ONE

日本中の熱狂を象徴する「赤い球体」を、ファン・チーム・企業・地域を象徴する「4本の黒いライン」が包み込み、ラグビーボールを形づくるイメージでリーグロゴをデザインしました。「ファン・チーム・企業・地域」がひとつに結束し「日本中の熱狂」を育てていくことで、世界に向けて飛躍するリーグを表現しています。

—— リーグアイデンティティ —— みんなのために FOR ALL

私たちは、新たなラグビーの未来をつくる。
日本ラグビーが育んだ「多様性の尊重」と「包摂の精神」を、普遍的価値として伝承し、それを発展させていく。

私たちは、関わるすべての人がラグビーに夢中になれる場を創造する。
立場の違いを超え、だれもが参加でき、だれもがラグビーの興奮と感動を共有できる環境をつくる。

私たちは、日本ラグビーの世界への飛躍に挑みつづける。
プレーのみならず、競技運営、スタジアム体験、事業、リーグを取り巻くすべてを、
世界最高の名に相応しいクオリティへと作り上げ、世界に日本ラグビーの魅力と驚きをひろげていく。
そして、ファン、チーム、企業、地域とひとつになり、社会に貢献し、世界へ羽ばたく人材を育成する。
ONE FOR ALL, ALL FOR ONE. ラグビーに輝けないポジションはない。
ともに、心躍る体験が、日常に溢れる風景を実現しよう。

あなたの街から、世界最高をつくろう。

VALUE

みんなのために FOR ALL

日本ラグビーが育んだ「多様性の尊重」と「包摂の精神」を、
普遍的価値として伝承し発展させていく。

VISION

あなたの街から、世界最高をつくろう。

リーグを取り巻くすべてを、世界最高の名に相応しいクオリティに作りあげ、心躍る体験が、日常に溢れる風景を実現する。

MISSION

1. ファンが熱狂する非日常空間の創造

だれもがラグビーを夢中になって楽しみ、興奮と感動を共有できる環境をつくる。

2. 日本ラグビーの世界への飛躍

日本ラグビーの質と技量の常なる向上を図り、世界に、ラグビーの新たな魅力と驚きをひろげる。

3. 地元の結束、一体感の醸成

だれもがそれぞれの立場で参加でき、強いつながりを感じる環境・文化を醸成する。

4. 社会に貢献する人財の育成

ファン、チーム、企業、地域とひとつになり、社会に貢献し、世界に羽ばたく人間を育てる。

NTTジャパンラグビー リーグワン2025-26 チーム一覧

ディビジョン1		ディビジョン2	ディビジョン3
カンファレンスA	カンファレンスB	豊田自動織機シャトルズ愛知	マツダスカイアクティブズ広島
東芝ブレイブルーパス東京	クボタスパイアーズ船橋・東京ベイ	花園近鉄ライナーズ	狭山セコムラガッツ
埼玉パナソニックワイルドナイツ	コベルコ神戸スティーラーズ	NECグリーンロケッツ東葛	クリタウォーターガッツシユ昭島
静岡ブルーレヴズ	東京サントリーサンゴリアス	レッドハリケーンズ大阪	中国電力レッドレグリオンズ
横浜キャノンイーグルス	リコーブラックラムズ東京	日野レッドドルフィンズ	ヤクルトレビズ戸田
三菱重工相模原ダイナボアーズ	トヨタヴェルブリッツ	九州電力キューデンヴォルテクス	ルリー口福岡
浦安D-Rocks	三重ホンダヒート	清水建設江東ブルーシャークス	
		日本製鉄釜石シーウェイブス	

CONTENTS

02	OVERVIEW OF JAPAN RUGBY LEAGUE ONE ジャパンラグビー リーグワン概要
03	MESSAGE ご挨拶
04	SEASON REVIEW 2025-26シーズンレビュー
06	ROAD TO THE CHAMPIONSHIP リーグワン初制覇までの軌跡
10	TEAM PROFILE チームプロフィール
11	2025-26チームジャージー・ マスコットキャラクター・ 2025-26シーズンテーマ・ホストゲームスタジアム
12	クラブハウス
13	チームの歴史
14	2025-26シーズン選手・チームスタッフ
15	2025-26シーズン成績
16	2025-26シーズンチーム活動・個人記録
17	ACADEMY アカデミー
18	GRASSROOTS PROMOTION 普及活動
19	HIGH SCHOOL RUGBY SUPPORT PROGRAM 高校ラグビー協賛事業
20	HOST AREA ACTIVITIES ホストエリア活動
26	FAN CLUB -STEEL MATES- ファンクラブ
27	HOST GAME TICKET ホストゲームチケット
28	OFFICIAL GOODS オフィシャルグッズ
29	KOBE "SMILE" PARK ホストゲーム試合会場イベント
30	PUBLIC RELATIONS 広報活動
32	PARTNER ACTIVITY パートナーアクティビティ
34	SEASON SUMMARY シーズンサマリー
35	OFFICIAL PARTNERS オフィシャルパートナー一覧



株式会社神戸製鋼所
ラグビーセンター長 兼
コベルコ神戸スティーラーズ
ディレクター

廣畑 純也

最初に、今シーズンを通してコベルコ神戸スティーラーズを支えてくださったパートナーの皆様、ファンの皆様、そして地域の皆様に、心から感謝申し上げます。

この一年、皆様からいただいた温かいご支援と熱いご声援が、私たちの大きな力となりました。勝利の瞬間も、苦しい時間も、皆様の存在が常に背中を押してくれました。心より御礼申し上げます。さて、今シーズンはリーグ戦1位、そしてプレーオフトーナメントを勝ち抜き優勝という結果を残すことができました。簡単な試合はひとつもなく、難しい場面の連続でしたが皆様の変わらぬ応援に支えられ、このような最高の結果をお届けすることができました。来シーズンも皆様の心に残るプレーをお見せし、再び喜びを分かち合えるよう、チーム・スタッフ一同、準備を進めてまいります。

また事業面においては、平均入場者数、ファンクラブ会員数、グッズ売上の上昇も昨シーズンを上回る結果となりました。日頃から支えてくださっているパートナー、ファン、地域の皆様の存在があってこそその成果であり、心より感謝申し上げます。クラブとして事業面でも着実に成長できていると感じています。来シーズンは2連覇を目指すことはもちろんですが、それだけにとどまらず、クラブとして少しずつでも確実に成長していきたいと考えています。事業としての基盤づくりや、ラグビーの普及、社会への貢献にも目を向けながら、パートナー、ファン、地域の皆様にとって、身近で応援しがいのある存在であり続けられるよう、来シーズンも挑戦を続けてまいります。

今後も皆様におかれましては引き続きコベルコ神戸スティーラーズへ変わらぬご支援とご声援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



コベルコ神戸スティーラーズ
チームディレクター

弘津 英司

この度、コベルコ神戸スティーラーズはNTTジャパンラグビー リーグワン2025-26において優勝を達成することができました。今シーズンを通じ、選手・スタッフが一体となり挑戦を続けてこられたのも、日頃よりサポートをいただいているパートナー企業の皆様、スタジアムで熱い応援をお送りいただいているスティーリングメイツの皆様、そして、我々の活動を温かく見守っていただいている地域の皆様のお陰であり、心より厚く御礼申し上げます。皆様とともにこの喜びを分かち合えることを、チームとして大変誇りに感じております。

今シーズンは、デイズ・レニー HC体制3年目となり、戦術理解が深まったことで状況に応じたプレー選択と遂行精度が向上し、さらにシーズンを通して良好なフィジカルコンディションを維持したことで、試合を通じて高い運動量と強度を保ち、安定したパフォーマンスを発揮できました。また、想像力豊かな若手選手の思い切りの良いプレーと、経験値の高いベテラン選手が培ってきた判断力と安定感が融合し、勢いと冷静さのバランスが噛み合うことで、より完成度の高いラグビーに繋がったと思います。

我々は今回の優勝に満足することなく、さらなる高みを目指し挑戦を続けてまいります。ラグビーを通じたさまざまな社会貢献活動を行い、皆様から愛され、誇りとされる魅力あるチームづくりを目指してまいりますので、今後ともご支援、ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

レニー体制で迎えたラストシーズンは、リーグワン

はじまりは3年前にさかのぼる。

「神戸の赤いジャージーにプライドを取り戻す」

2023-24シーズン、ディレクターオブラグビー/ヘッドコーチに就任したデイブ・レニー氏はそう決意を述べた。これまで日本選手権歴代最多となる10回、全国社会人大会9回、トップリーグ2回の優勝を誇る西の名門。しかし、2022シーズンにはじまったリーグワンでは、思うような結果を出せずに苦境に立たされていた。1年目は7位。そして、2022-23シーズンはトップリーグ以降チーム史上最低成績の9位。入替戦目前まで順位を落とし、低迷するチームの再建を託されたのが、オーストラリア代表ヘッドコーチの経験を持ち、チーフスをスーパーラグビー連覇に導くなど、世界的な名将と名高いレニー氏だ。もともとはディレクターオブラグビーとしてスポットで指導するオファーだったが、そのような関わり方ではチームを再建できないとフルタイムのコーチとして神戸へ。冒頭の決意表明のもとでチーム改革はスタートした。まずは神戸SのDNAである、ボールを動かすアタッキングラグビーを体現するために必要なフィットネス、フィジカルをフィル・ヒーリーヘッドアスレティック パフォーマンスコーチのもとで徹底的に強化。また、失点の多さが課題であることから、ディフェンスについても連動しながら守ることができるように取り組んだ。2021シーズン以来再加入となる、ニュージーランド代表109キャップのプロディ・レタリックと生え抜き山下 楽平を共同キャプテンに据えて臨んだ2023-24シーズンは5位。プレーオフへ進出できる4位以内(当時)に届かなかったが、前年度から順位を4つ上げる飛躍を見せて、優勝に向けて「土台作りができた」1年になった。

2年目の昨シーズンは、神戸、兵庫県をホストエリアに活動するチームにとって特別なシーズンだった。1995年1月17日。忘れることができない日である。阪神・淡路大震災が発生し、街、そして、チームの母体である神戸製鋼所は壊滅的な被害を受けた。あの日から30年を迎えるシーズン、新たに共同キャプテンを任されたのが、神戸市出身の李 承信だ。神戸で育ち、街を愛する李が、レタリックと共にチームを牽引することになった。1月17日には選手、スタッフ全員が神戸市中央区の東遊園地で行われ

る追悼行事「阪神淡路大震災1.17のつどい」にチームとして初めて参加。その2日後に行われた試合には選手がデザインした「1.17メモリアルジャージー～阪神・淡路大震災30年～」を着用して戦った。誰のために、誰を代表して戦うのか。就任以来、レニーHCが選手へ問いかけ続ける、この言葉をいつも以上に強く意識し臨んだシーズンとなった。リーグ戦は10勝8敗で5位。このシーズンから上位6チームがプレーオフに進めることもあり、リーグワン発足後初めて優勝を狙える戦いに駒を進めた。準決勝は連覇を狙う東芝ブレイブルーパス東京に阻まれるも、3位決定戦ではトップリーグ2003-2004以来勝つことができなかった埼玉パナソニックワイルドナイツを撃破、3位でシーズンを終えた。

5位、3位と順位を上げて迎えた2025-26シーズン。新戦力として加わったのが、レニー体制1年目に攻守で圧巻のパフォーマンスを見せたバックロー、アーディ・サベアとチーフスで100試合以上プレーするアントン・レイナートブラウンという2人のオールブラックス。加えて、2024-25シーズンにアーリーエントリーとしていち早くリーグワンに出場したソロモネ・フナキ、上村 樹輝、植田 和磨といったタレント揃いの2025年度新加入選手の存在も頼もしい。2023年に7人制日本代表としてパリ五輪に出場した植田においては、シーズン終了後、15人制日本代表に初選出されて国際試合を経験。若手、ワールドクラスのプレーヤー、そして山下 裕史や日和佐 篤といったベテランが融合し、スティールメイツの優勝への期待が否応なく高まる。レニーHCは「すべての面で成長できたことが昨シーズンの3位という成績につながった。今シーズンはどの試合でも一貫性あるパフォーマンスができるようにしていく」と語った。

何より強みとなっているのは、レニー体制3シーズン目となり、選手全員が目指すラグビーの理解度が高まり、自分たちが何をすべきか、それぞれの仕事が明確になっていることだ。さらに神戸Sのラグビーに磨きをかけるべく、ディフェンスについてはグラスゴー・ウォリアーズのユナイテッド・ラグビー・チャンピオンシップ優勝に貢献したビート・マーチ氏が新たにディフェンスコーチに就任し、強化に取り組んだ。また、レニーHCは昨シーズン



初制覇という最高のエンディングに。

の課題として「強化してきたディフェンスでボールを奪ってアタックにつなげても、トライにいたるまでにターンオーバーを許して攻撃が寸断されてしまうことがよくあった」と被ターンオーバー数の多さを指摘し、2024-25シーズンから加わったFWコーチのダン・マクファーランド氏のもとで『詳細と実行』をテーマに改善に努めた。どの試合でも神戸Sのラグビーを精度高く遂行し、まずはリーグ戦を6位以内に入ることを目標に据えて、NTTリーグワン2025-26の戦いへと突入した。

シーズン序盤、チームは「未完成な状態でした」と李が振り返ったように、開幕戦は昨年シーズン準優勝のクボタスピアーズ船橋・東京ベイを前にチャンスを作るもトライまでの遂行力が低く、28-33で惜敗。第2節では三重ホンダヒートにスクラムでプレッシャーを受けるなど苦戦するも、28-23で今シーズン初白星を飾ると、そこから試合を重ねるごとにラグビーの精度が高まり、連勝街道を突き進む。第7節からはアーリーエントリーの上ノ坊 駿介が彗星のごとく現れ、デビュー戦でハットトリックを決める大活躍。チームの勢いを加速させる。また、攻守の大黒柱であるレタリックは、FW 第2列でありながらトライを量産する。第2節から10連勝を飾り、第11節終了後には首位に立つ。しかし直後の第12節は終始受け身になり、自分たちのスタンプを出せずに当時最下位の横浜キヤノンイーグルスに29-38で苦杯を舐めて3位に転落。だが、この敗戦がターニングポイントとなった。神戸Sは常に良いマインドセットで試合に臨むようになり、第13節以降は相手に先制パンチを浴びせる。再び白星を重ねて臨んだリーグ最終戦は、開幕戦で敗れたS東京ベイとの一戦だ。予想通り激戦となり、拮抗した展開になるも、後半逆転に成功するとそのまま逃げ切り、会場である江戸川区陸上競技場で29連勝中の相手を打ち破り、リーグ戦1位通過でプレーオフ進出を決めた。

「S東京ベイに勝利できたことはプレーオフに向かう上で大きな自信になります!」と李は声を弾ませた。しかも、2位以内に入ると、準々決勝が免除され、準決勝からの参戦となり、有利な状況でプレーオフに臨むことができる。

「優勝するには、プレーオフで最高のチームになることが必

要である」

開幕前、レニー HC はこう語っていた。そのレニー HC は2025-26シーズン終了後、母国・ニュージーランドに戻り、オールブラックスのヘッドコーチに就任する。また、これまでチームの強化に尽力した多くのコーチ陣もこのシーズンをもって退団することが発表されている。レニー体制で臨む、最後の2試合だ。準決勝の東京サントリーサンゴリアス戦は前半こそ反則が出て流れを完全に掌握できずに折り返すも、後半は多彩なアタックからトライの山を築いて69-23で圧勝した。今シーズンのラストゲームは5万人を超える観客が詰めかけた国立競技場でS東京ベイとの対戦になった。

「レニー体制の集大成を發揮しよう」

チーム一丸となって臨んだ一戦は相手のフィジカルに阻まれて、神戸Sらしいアタックは影を潜めたが、強化してきたディフェンスが機能し、リーグ2位の攻撃力を誇るS東京ベイを1トライに抑えて22-13で勝利。神戸Sはトップリーグ2018-2019以来、リーグワンでは初となる頂点に立った。選手、そして、スタンドで激闘を見守ったスティールメイツの目にも涙が浮かぶ。冒頭の言葉通り、神戸の赤いジャージーにプライドを取り戻した瞬間だ。

神戸Sは新しい歴史を作った。チームに多くの変革をもたらしたレニー HC は、2025年に初めてチームとして参加した「阪神淡路大震災1.17のつどい」に、実は就任1年目の2024年にプライベートで訪れたという。そこで神戸の街が持つ復興への力を感じ、翌年から全員での参加を決めた。街とのつながり、神戸製鋼所とのつながりに重きを置き、チームをひとつに向かわせた。そして、グラウンドでは厳しくもぶれない指導で、選手の意識が高まった。李は「レニー HC のもとで3シーズン、チームは大きく成長できて、新しいレガシーを作ることができました」と笑顔を見せる。

レニー HC と共に紡いできた王座奪還への挑戦のストーリーは、最高のエンディングを迎えた。来シーズンはこの3シーズンで作り上げたカルチャー、レガシーを継承しながら、連覇を目指す新章がスタートする。





2025-26

リーグワン初制覇までの軌跡

5年目のリーグワンで初の頂点に立ったコベルコ神戸スティーラーズ。優勝はトップリーグ2018-2019以来となります。選手、スタッフ、そしてスティールメイツ、神戸の皆様、パートナーの皆様と共に戦った2025-26シーズン。優勝までの戦いの軌跡を振り返ります。



ディレクターオブラグビー/ヘッドコーチ
デイブ・レニー



指揮官に就任した前年度、チームは9位でした。『赤いジャージーにプライドを取り戻す』という信念のもと、神戸SのDNAであるアタッキングラグビーをするためのフィジカル、フィットネスの強化に着手しました。土台作りを行った2023-24シーズンは5位。そして、昨シーズンは3位。今シーズンは目指すラグビーの理解度が高まり良いラグビーができ、リーグ戦を1位通過し、プレーオフに進むことができました。決勝は拮抗した展開になりましたが、僅差で勝利し、嬉しく思います。この優勝は素晴らしいパフォーマンスをした選手、コーチ陣の努力の賜物です。

共同キャプテン
プロディ・レタリック



2023-24シーズンからレニー体制のもとでチームを作ってきて、3年目の今シーズンは全員が同じ方向を向いてラグビーをすることができ、レベルアップを感じられました。シーズンを通して一貫性のある戦いができ、その中で私自身のパフォーマンスも引き上げられたように思います。決勝は5万人を超える両チームのファンの前でプレーできて、最高の気分でした。リーグワン初優勝は、ホストゲーム、ビジターゲームにかかわらず応援してくれたスティールメイツの皆様と一緒に掴み取ったものです。皆様の熱いご声援に心から感謝申し上げます。

共同キャプテン
李 承信



2020年度に入団して以来、大好きな神戸Sで新しい歴史を作りたいと思い練習に励んできました。決勝はレニー体制になってから積み上げてきたものをすべて出し切ることにフォーカスして臨み、タフな試合になりましたが、全員が役割を遂行し勝ち切ることができて、夢を叶えることができた瞬間になりました。神戸の街、母体である神戸製鋼所、パートナー企業、スティールメイツの皆様により優勝という形で恩返しができる、幸せに思います。来シーズンは体制が変わりますが、レガシーを継承しつつ、これからも強い神戸Sを見せられるよう頑張ります。

FINAL 決勝



NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2025-26
PLAY-OFFS FINAL



POTM プロディ・レタリック
決勝でも圧倒的な運動量で攻守に大車輪のごとく活躍したLOプロディ・レタリック



40mのロングPGを含め、全6本のキックを決め、勝利に貢献したSO李承信



後半自陣ゴール前のピンチで値千金のスティールを見せたPR高尾時流

プレーオフトーナメント 決勝

2026.6.7 [Sun] 15:05KO

vs クボタスピアーズ船橋・東京ベイ

📍 東京・MUFGスタジアム(国立競技場)



22 - 13



T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
1	1	2	0	0	13	前半	13	1	1	2	0	0
0	0	3	0	0	9	後半	0	0	0	0	0	0

Member

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 高尾 時流 | 13 アントン・レイナートブラウン |
| 2 アッシュ・ディクソン | 14 植田 和磨 |
| 3 山下 裕史 | 15 上ノ坊 駿介 |
| 4 プロディ・レタリック | 16 松岡 賢太 |
| 5 ジェラード・カウリートゥイオティ | 17 前田 翔 |
| 6 ティエナン・コストリー | 18 具智元 |
| 7 アーディ・サベア | 19 小瀧 尚弘 |
| 8 ワイサケ・ララトップア | 20 ソロモネ・フナキ |
| 9 上村 樹輝 | 21 中嶋 大希 |
| 10 李 承信 | 22 プリン・ガットランド |
| 11 イノケ・ブルア | 23 マイケル・リトル |
| 12 タリ・イオアサ | |

Match Report

レニー体制の集大成として臨んだ決勝は今季2度対戦し1勝1敗のS東京ベイと相見えた。試合は序盤からフィジカルでプレッシャーを受けて相手のペースになり、一時は10点差をつけられるもWTBブルアのトライなどで追いつくと、後半は堅守で相手を0点に封じ込め、22-13で勝利しリーグワン初優勝を飾った。

SEMI-FINAL 準決勝



NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2025-26
PLAY-OFFS SEMI-FINALS



POTM 上村 樹輝
後半3分、猛攻の口火を切るトライをマークしたSH上村 樹輝



強みのスピードある走りを随所で見せたWTB植田 和磨



攻守にわりハードワークが光ったFLアーディ・サベア

プレーオフトーナメント 準決勝

2026.5.30 [Sat] 12:05KO

vs 東京サントリーサンゴリアス

📍 東京・秩父宮ラグビー場



69 - 23



T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
4	2	0	0	0	24	前半	16	1	1	3	0	0
7	5	0	0	0	45	後半	7	1	1	0	0	0

Member

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 高尾 時流 | 13 アントン・レイナートブラウン |
| 2 アッシュ・ディクソン | 14 植田 和磨 |
| 3 山下 裕史 | 15 上ノ坊 駿介 |
| 4 プロディ・レタリック | 16 松岡 賢太 |
| 5 ジェラード・カウリートゥイオティ | 17 前田 翔 |
| 6 ティエナン・コストリー | 18 渡邊 隆之 |
| 7 アーディ・サベア | 19 小瀧 尚弘 |
| 8 ワイサケ・ララトップア | 20 ソロモネ・フナキ |
| 9 上村 樹輝 | 21 中嶋 大希 |
| 10 李 承信 | 22 プリン・ガットランド |
| 11 イノケ・ブルア | 23 マイケル・リトル |
| 12 タリ・イオアサ | |

Match Report

リーグ戦を1位通過し、準決勝から参戦の神戸S。準決勝の相手は準々決勝でBR東京を破った東京SGとの対戦になった。前半は相手に3本のPGと1本のトライを決められ24-16と競った展開になるも、規律を修正し、プレーの精度を意識した後半は神戸Sの攻撃が炸裂、計11トライをマークし完勝した。

第1節 HOST カンファレンスB

2025.12.13 [Sat] 兵庫・ノエスタ
Vs クボタスピアーズ船橋・東京ベイ

28 - 33

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
1	1	3	0	0	16	前半	15	2	1	1	0	0
2	1	0	0	0	12	後半	18	2	1	2	0	0

POTM 木田 晴斗(S東京ベイ)

《勝負どころでの遂行力が低く接戦を落として黒星スタート》



トライを決めるなど、能力の高さを見せた新戦力のCTBアントン・レイナートブラウン

第2節 VISITOR カンファレンスB

2025.12.21 [Sun] 三重・鈴鹿
Vs 三重ホンダヒート

28 - 23

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
1	1	0	0	0	7	前半	12	0	0	4	0	0
3	3	0	0	0	21	後半	11	1	0	2	0	0

POTM ブロディ・レタリック

《後半一気に畳み掛けて逆転敵地で今季初勝利をマーク!》



攻守に圧倒的な存在感を示し今季初勝利に貢献した共同キャプテンのLOブロディ・レタリック

第3節 HOST カンファレンスB

2025.12.27 [Sat] 兵庫・ノエスタ
Vs トヨタヴェルブリッツ

49 - 29

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
4	4	0	0	0	28	前半	17	2	2	1	0	0
3	3	0	0	0	21	後半	12	2	1	0	0	0

POTM 上村 樹輝

《大ベテランのメモリアルマッチを地元神戸でトライを挙げて快勝》



長年神戸Sのスクラムを支えるPR山下 裕史(中央)がリーグ通算200試合出場を達成した

第7節 HOST 交流戦

2026.2.7 [Sat] 兵庫・ユニバ
Vs 静岡ブルーレヴズ

60 - 45

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
6	4	0	0	0	38	前半	21	3	3	0	0	0
4	1	0	0	0	22	後半	24	4	2	0	0	0

POTM 上ノ坊 駿介

《アーリーエントリー上ノ坊がデビュー戦でPOTMを獲得》



チームに合流したばかりのFB上ノ坊 駿介選手が3トライを上げ、鮮やかなデビューを飾った

第8節 VISITOR 交流戦

2026.2.15 [Sun] 東京・秩父宮
Vs 東芝ブレイブルーパス東京

34 - 33

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
3	1	1	0	0	20	前半	7	1	1	0	0	0
2	2	0	0	0	14	後半	26	4	3	0	0	0

POTM 松永 貴汰

《2連覇中の王者・BL東京にトップリーグ2020以来の勝利》



自身のリーグ通算50試合目の一戦で2トライをマークしPOTMを受賞したWTB松永 貴汰

第9節 HOST 交流戦

2026.2.21 [Sat] 兵庫・ユニバ
Vs 埼玉パナソニックワイルドナイツ

40 - 24

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
3	2	0	0	0	19	前半	19	3	2	0	0	0
3	3	0	0	0	21	後半	5	1	0	0	0	0

POTM 植田 和磨

《地元神戸で22季ぶりとなるリーグ戦で埼玉WK戦に白星》



ルーキーのWTB植田 和磨が快足を披露しトライ、勝利を呼び込む活躍を見せた

第13節 VISITOR 交流戦

2026.3.28 [Sat] 静岡・IAI
Vs 静岡ブルーレヴズ

41 - 20

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
4	3	0	0	0	26	前半	3	0	0	1	0	0
2	1	1	0	0	15	後半	17	3	1	0	0	0

POTM 上村 樹輝

《前節の敗戦から立て直して終始相手を圧倒しPO進出決定!》



アタックにテンポを生む素早い球捌きだけでなく、サポートからトライを決めたルーキーのSH上村 樹輝

第14節 VISITOR カンファレンスB

2026.4.5 [Sun] 東京・秩父宮
Vs リコーブラックラムズ東京

40 - 19

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
5	5	0	0	0	35	前半	19	3	2	0	0	0
1	0	0	0	0	5	後半	0	0	0	0	0	0

POTM アーディ・サベア

《今季好調のBR東京から6トライを奪って勝利し2位に》



正確無比なキックが持ち味のSO布林・ガットランドがこの試合でチーム史上初の500得点を達成

第15節 VISITOR カンファレンスB

2026.4.18 [Sat] 愛知・豊田
Vs トヨタヴェルブリッツ

38 - 24

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT		
3	3	0	0	0	21	前半	14	2	2	0	0	0
3	1	0	0	0	17	後半	10	1	1	1	0	0

POTM 上ノ坊 駿介

《久々に出番を得た選手が奮闘し敵地で白星、3位以上が確定》



13試合ぶりに出場のPR渡邊 隆之(左)をはじめ、これまでメンバー外だった選手が出番を得て奮闘

第4節 VISITOR カンファレンスB

2026.1.10 [Sat] 東京・味の素
Vs 東京サントリーサンゴリアス

22 - 20

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
2	2	0	0	0	14 前半	2	2	1	0	0
1	0	1	0	0	8 後半	3	0	0	1	0

POTM **ブロディ・レタリック**

《 相手の堅守に苦しみながらも最後に3点をもぎ取り3連勝 》



終了間際に共同キャプテンのCTB李 承信が逆転のPGを決め、苦しい試合をものにした

第5節 HOST カンファレンスB

2026.1.17 [Sat] 兵庫・ユニバ
Vs リコーブラックラムズ東京

67 - 21

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
5	3	1	0	0	34 前半	7	1	1	0	0
5	4	0	0	0	33 後半	14	2	2	0	0

POTM **ブロディ・レタリック**

《 震災から31年目を迎える特別な日に10トライを挙げ勝利 》



試合前に黙祷を捧げて臨んだ一戦は、10トライをマークする猛攻で圧勝となった

第6節 VISITOR 交流戦

2026.1.24 [Sat] 神奈川・ニッパツ
Vs 横浜キャノンイーグルス

38 - 32

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
2	0	0	0	0	10 前半	8	1	0	1	0
4	4	0	0	0	28 後半	24	4	2	0	0

POTM **ブロディ・レタリック**

《 最終盤に3失トライで6点差に追い上げられるも凌ぎ切る 》



2シーズン所属した古巣との対戦で2トライを上げ、勝利に貢献したWTBイノケ・ブルア

第10節 VISITOR 交流戦

2026.2.28 [Sat] 東京・駒沢
Vs 浦安D-Rocks

78 - 19

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
6	4	0	0	0	38 前半	5	1	0	0	0
6	5	0	0	0	40 後半	14	2	2	0	0

POTM **ティエナン・コストリー**

《 大事なブロックと位置付けた最後の戦いも完勝し、9連勝 》



スピードある走りを見せて3トライをマークするなど大活躍だったFLティエナン・コストリー

第11節 HOST 交流戦

2026.3.14 [Sat] 兵庫・ユニバ
Vs 三菱重工相模原ダイナボアーズ

61 - 10

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
7	6	0	0	0	47 前半	0	0	0	0	0
2	2	0	0	0	14 後半	10	2	0	0	0

POTM **李 承信**

《 後半は攻めあぐるも勝ち点5を獲得し首位浮上 》



14本のタックルとアタックでも1トライを上げチームを勝利に導いたFLアーディ・サベア(左)

第12節 HOST 交流戦

2026.3.20 [Fri・holiday] 兵庫・ユニバ
Vs 横浜キャノンイーグルス

29 - 38

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
2	0	0	0	0	10 前半	24	3	3	1	0
3	2	0	0	0	19 後半	14	2	2	0	0

POTM **ファフ・デクラーク(横浜E)**

《 出足の鋭いディフェンスに苦しみ今季2敗目を喫して、3位に転落 》



後半27分PR前田 翔(中央)のトライで逆転に成功するも、その後再び試合をひっくり返された

第16節 HOST カンファレンスB

2026.4.25 [Sat] 兵庫・ユニバ
Vs 東京サントリーサンゴリアス

49 - 28

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
4	4	0	0	0	28 前半	14	2	2	0	0
3	3	0	0	0	21 後半	14	2	2	0	0

POTM **タリ・イオアサ**

《 ファーストパンチを食らわせて、4試合連続で勝ち点5を獲得 》



力強いラン、オフロードパスでチャンスを作り、自らトライも決めたCTBタリ・イオアサ

第17節 HOST カンファレンスB

2026.5.2 [Sat] 大阪・花園
Vs 三重ホンダヒート

24 - 19

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
3	1	0	0	0	17 前半	14	2	2	0	0
1	1	0	0	0	7 後半	5	1	0	0	0

POTM **イノケ・ブルア**

《 接点でプレッシャーを受けるも5点差で逃げ切り再び首位に 》



負傷したイオアサに代わり前半終了間際グラウンドに入り攻守で活躍のCTBマイケル・リトル(中央)

第18節 VISITOR カンファレンスB

2026.5.10 [Sun] 東京・えどりく
Vs クボタスピアーズ船橋・東京ベイ

24 - 19

T	G	PG	DG	PT	SCORE	T	G	PG	DG	PT
2	2	1	0	0	17 前半	19	3	2	0	0
1	1	0	0	0	7 後半	0	0	0	0	0

POTM **ブロディ・レタリック**

《 えどりく不敗神話を打ち破りリーグ戦1位通過でプレーオフへ! 》



最終盤ゴール前ラインアウトのピンチでスティールを決めたLOジェラード・カウリートウイオティ

コベルコ神戸スティーラーズ [KOBELCO KOBE STEELERS]

KOBELCOグループのコベルコ、ホストタウンである神戸、
そして私たちのチームアイデンティティであり、
チームの愛称として多くのファンの皆様に馴染みのあるスティーラーズを組み合わせた
「コベルコ神戸スティーラーズ」を2021年より新たなチーム名称として設定しました。

EMBLEM 【エンブレム】



WORD LOGO 【ワードロゴ】



/// デザインコンセプト ///

代々受け継がれる「高炉の赤」とチームの魂である「サラマンダー」を継承しつつ、
その力強さと躍動感を表現し、チームの燃え上がる熱い想いをデザインに込めています。

これに港町神戸をイメージさせる「錨」をモチーフとして組み合わせることで、
神戸に錨を下ろして地域に根差して活動する、我々の決意を表しています。

変幻自在に形を変える『炎』と重厚感と安定感のある『錨』、
無形と有形の相反する2つのモチーフは、

『情熱と冷静』『革新と伝統』『自由と規律』

相反する要素を体現する我々のクリエイティブラグビーを表現しています。
新たなエンブレムと共に我々コベルコ神戸スティーラーズは笑顔あふれる社会づくりに貢献し、
神戸から日本そして世界へと笑顔の輪を広げてまいります。

VISION

【実現したい未来】

SMILE TOGETHER

笑顔あふれる未来をともに

私たちコベルコ神戸スティーラーズは笑顔の持つエネルギーを信じている。
どんな逆境でも笑顔で乗り越えていく不屈の姿は世界に大きな驚きと感動をもたらす。
その瞬間を分かちあい、生まれる笑顔の連鎖で明るい未来を紡いでいく。
創造力で想像以上の世界へ。笑顔あふれる未来をともに。

MISSION

【使命】

クリエイティブラグビーで、心に炎を。

コベルコ神戸スティーラーズはどんな困難な壁にも、不屈の精神で挑み続ける。
強くしなやかでそして自由なクリエイティブラグビーで観る者の心に熱い炎を灯す。

TEAM JERSEY 【2025-26チームジャージー】

1st JERSEY

BE KOBE/ ロゴ

阪神・淡路大震災から20年をきっかけに生まれた、「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いを集約したシビックプライド・メッセージ「BE KOBE」を右袖に採用。神戸を誇りに思い、阪神・淡路大震災を語り継いでいくことが我々の使命である。



チームエンブレム

左胸には、公式試合ジャージーのみ使用を認められた特別仕様のエンブレムが使われている。炎の精霊「サラマンダー」が宿り、港町神戸をイメージさせる「錨」と組み合わせたチームエンブレムは、地域に根差して活動する我々の決意を表している。



オリジナル模様で表現した多様性と獨創性

我々のホストエリアである港町神戸をイメージさせる波模様。その波模様等に、チームの獨創性や様々なバックグラウンドを有する選手、スタッフの多様性を表現している。

2nd JERSEY

鉄をイメージしたカラー

2ndジャージーは白のベースカラーに「鉄」をよりイメージできるデザインカラーリングを採用。コベルコグループが高い線材製造技術を活かし製造したつり橋用素材が使用されている「明石海峡大橋」もカラーリングの参考としている。1stジャージーと同様の模様が採用され、腹部にはサラマンダーが宿る。

Bodies of Steel/ 鉄・鋼の肉体

力強いインスピレーションを与えてくれる「鉄」のプレート模様と強靱な「鋼」の肉体のような「耐久力、強さ、反発力、信頼、獨創性」を身に纏うという意味が込められている。

「高炉の赤」と炎の精霊「サラマンダー」

1stジャージーは「高炉の赤」をイメージしたベースカラーを採用。腹部にはチームエンブレムに宿る「サラマンダー」を降り立たせることで、我々の燃え上がる熱い想いを表している。



FRONT

BACK



FRONT

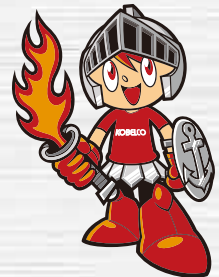
BACK

※パートナーロゴは2025年8月18日時点

MASCOT CHARACTER 【マスコットキャラクター】

コーロクン

2008年に誕生したマスコットキャラクターの「コーロクン」。2022年、ジャパンラグビーリーグワンに向けて、これまで以上に地元神戸に根差した活動をする決意を表すために、『錨(いかり)』マークの盾に持ち替えパワーアップしました。チーム、スティールメイツと共にジャパンラグビーリーグワンを戦います！



SEASON THEME 【2025-26シーズンテーマ】



「RISE HIGHER」

2025-26シーズン、チームは優勝、事業としてもさらなる高みを目標とすることから、2024-25シーズンで掲げたシーズンテーマ「RISE」を継続し、「HIGHER=より多くの意味」をRISEと合わせて「RISE HIGHER」というシーズンテーマのもと、地域の皆さま、スティールメイツやパートナー企業の皆さまと一緒に2025-26シーズンのラグビー事業に取り組みました。

※シーズンテーマとはチームが掲げるビジョンやスローガンとは異なり、プロモーションのコアメッセージとして、そのシーズンにおけるラグビー事業の方向性を示すものです。

HOST GAME STADIUM 【ホストゲームスタジアム】

ノエビアスタジアム神戸



開閉式の屋根を備える全天候型スタジアム。三宮駅から地下鉄で約10分とアクセスも便利。

- 住所 神戸市兵庫区御崎町1-2-2
- アクセス 神戸市営地下鉄海岸線「御崎公園駅」から徒歩約5分 JR神戸線「兵庫駅」から徒歩約20分

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場



3万人以上が収容可能な日本有数の総合競技場。周辺には遊び場やコスモスの丘等の施設が隣接している。

- 住所 神戸市須磨区緑台
- アクセス 神戸市営地下鉄西神・山手線「総合運動公園駅」から徒歩約5分

東大阪市花園ラグビー場



昭和4年に完成した日本初のラグビー専用グラウンド。場内には「花園ラグビーミュージアム」を併設。

- 住所 東大阪市松原南1-1-1
- アクセス 近鉄奈良線「東花園駅」から徒歩約8分 近鉄けいはんな線「吉田駅」から徒歩約15分

CLUB HOUSE 【クラブハウス】

2021年8月、コベルコ神戸スティーラーズラグビーグラウンドに新クラブハウスが誕生しました。ラグビーチームの力強さを重厚な鉄の塊で表現した斬新なデザイン。グラウンドに繋がるコリドーには歴代部員のネームボードが飾られるレガシーウォールを配置し、チームの歴史を現役選手に感じてもらえる設計となっています。またコリドーを核に、コミュニケーション空間を展開。室内練習場や疲労回復を促すリカバリー水槽など高機能な設備を有しています。



レガシーウォール



ミーティングルーム



ロッカールーム



トレーニングルーム



室内練習場



リラックスルーム



コベルコ神戸スティーラーズラグビーグラウンド



スティーラーズ記念館(旧クラブハウス)

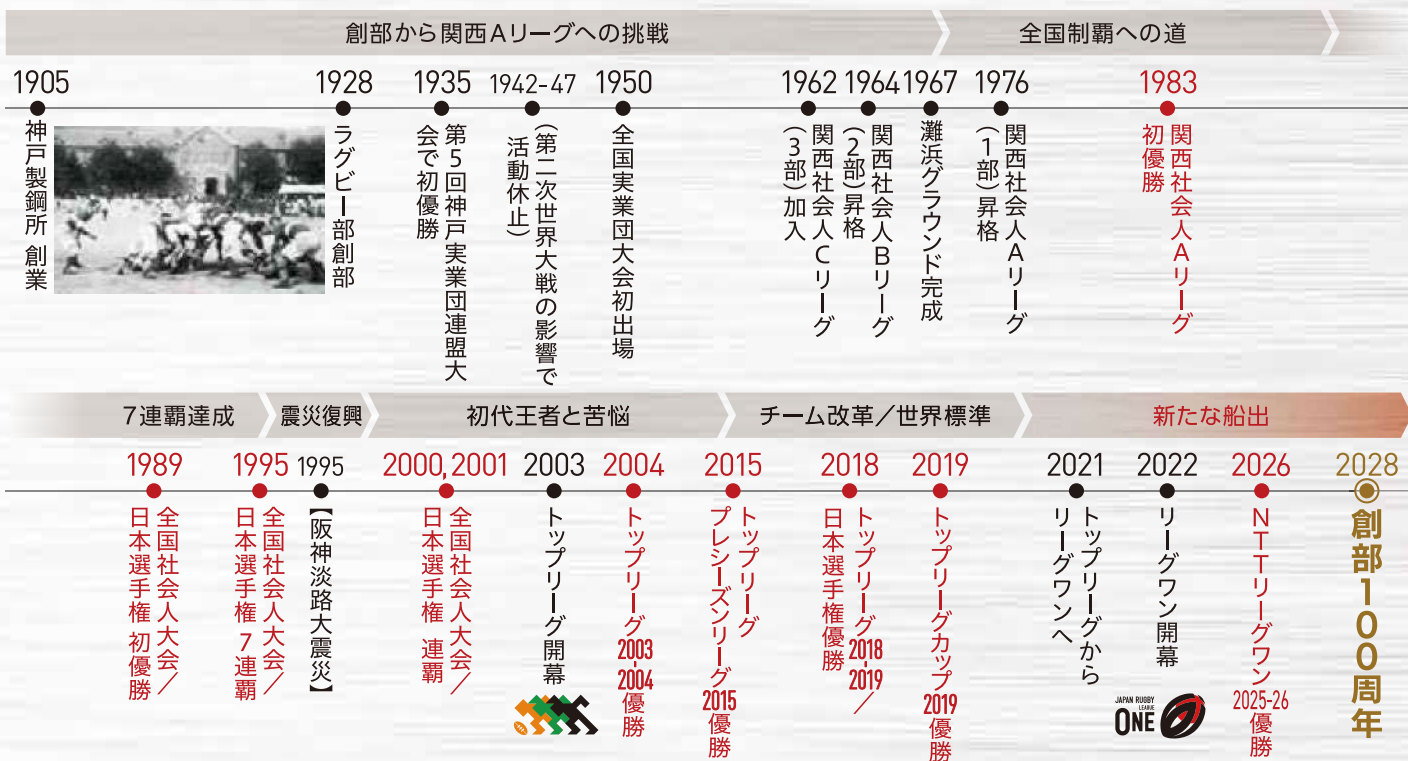
日本選手権初優勝(第26回大会、1989年1月15日)を記念して建てられた旧クラブハウスは、現在「スティーラーズ記念館」としてチームを支えるフロントスタッフの活動拠点になっています。

アクセス



- 🏠 神戸市東灘区御影浜町4番地
- 🚆 阪神本線「御影駅」より
- 🚶 徒歩約20分
- 🚗 タクシー約5分

TEAM HISTORY 【チームの歴史】



平尾 誠二



7連覇達成



トップリーグ初代王者



トップリーグ 2018-2019
兼日本選手権優勝



NTTリーグワン2025-26優勝

■ 大会優勝記録一覧



ジャパンラグビー リーグワン 優勝:1回(2025-26)



日本ラグビーフットボール選手権大会 優勝:10回 ※歴代最多(1989,1990,1991,1992,1993,1994,1995,2000,2001,2018)
全国社会人ラグビーフットボール大会 優勝:9回(1989,1990,1991,1992,1993,1994,1995,2000,2001)



ジャパンラグビー トップリーグ 優勝:2回(2003-2004,2018-2019)
ジャパンラグビー トップリーグカップ 優勝:1回(2019)
トップリーグプレシーズンリーグ 優勝:1回(2015)



関西社会人リーグ 優勝:12回(1983,1984,1986,1989,1990,1991,1992,1993,1996,1997,1998,2001)

■ 歴代ラグビーワールドカップ日本代表選手(選出時チーム所属)

回	開催年	開催国	選手名
第1回大会	1987年	ニュージーランド、オーストラリア	4名 LO大八木 淳史/FL林 敏之/SH萩本 光威/SO平尾 誠二
第2回大会	1991年	イングランド他4カ国	5名 LO林 敏之/LO大八木 淳史/SH堀越 正巳/CTB平尾 誠二/FB細川 隆弘
第3回大会	1995年	南アフリカ	6名 HO弘津 英司/SH堀越 正巳/CTB元木 由記雄/CTB吉田 明/CTB平尾 誠二/WTB増保 輝則
第4回大会	1999年	ウェールズ	8名 PR中道 紀和/NO8伊藤 剛臣/SO岩淵 健輔/CTB元木 由記雄/CTB吉田 明/WTB増保 輝則/WTB大畑 大介/FB平尾 剛史(監督:平尾 誠二)
第5回大会	2003年	オーストラリア	6名 NO8伊藤 剛臣/NO8齊藤 祐也/SH苑田 右二/SOアンドリュー・ミラー/CTB元木 由記雄/WTB大畑 大介
第6回大会	2007年	フランス	2名 HO松原 裕司/CTB今村 雄太
第7回大会	2011年	ニュージーランド	3名 PR平島 久照/NO8谷口 到/CTB今村 雄太
第8回大会	2015年	イングランド	4名 PR山下 裕史/HO木津 武士/LO伊藤 鐘史/CTBクレイグ・ウィング
第9回大会	2019年	日本	4名 PR中島 イシレリ/CTBラファエレ ティモシー/WTBアタアタ・モエアキオラ/FB山中 亮平
第10回大会	2023年	フランス	4名 PR具 智元/LOサウマキ アマナキ/SO李 承信/FB山中 亮平

TEAM MEMBERS 【選手・チームスタッフ】

PLAYERS 【選手】

PR 山下 裕史 HIROSHI YAMASHITA	PR 中島 イシレリ ISILELI NAKAJIMA	PR 渡邊 隆之 TAKAYUKI WATANABE	PR 具 智元 JIWON GU	PR 高尾 時流 SHIGURE TAKAO	PR 前田 翔 SHO MAEDA	PR 森脇 光 HIKARU MORIWAKI	PR カウワカ・カイヴェラ KAUWAKA KAIWELATA
PR 26年度新加入 大下 真志 TAKASHI OSHITA	PR 26年度新加入 富田 陸 RIKU TOMITA	HO 25年度新加入 アッシュ・ディクソン ASH DIXON	HO 北出 卓也 TAKUYA KITADE	HO 松岡 賢太 KENTA MATSUOKA	HO 25年度新加入 シオネ・シメ・マウ SIONE SIME MAU	HO 25年度新加入 宮内 慶大 KEITA MIYAUCHI	LO 共同キャプテン プロディ・レタリック BRODIE RETALLICK
LO 小瀧 尚弘 NAHIRO KOTAKI	LO ジェラード・カウリトウイオイ GERARD COWLEY-TUIOTI	LO 25年度新加入 カヴァイア・タギヴェタウア KAVAIA TAGIVETAUA	LO ワイサケ・ララトゥプア WAISAKE RARATUBUA	LO 25年度新加入 本橋 拓馬 TAKUMA MOTOHASHI	LO 25年度新加入 ニール・ハンセン NEIL HANSEN	FL 橋本 皓 HIKARU HASHIMOTO	FL 前田 剛 GO MAEDA
FL 今村 陽良 TAKARA IMAMURA	FL ソセフォ・ファカタヴァ SOSEFO FAKATAVA	FL 福西 隼杜 HAYATO FUKUNISHI	FL 25年度新加入 ソロモネ・フナキ SOLOMONE FUNAKI	FL 26年度新加入 ニコ・ヘンリック NICO HENRICO	N08 25年度新加入 アーディ・サベア ARDIE SAVEA	N08 ティエナン・コストリー TIENNAN COSTLEY	N08 ウィリー・ポトヒエッター WILLIE POTGIETER
N08 26年度新加入 シオネ・ポルテレ SIONE POLUTELE	SH 日和佐 篤 ATSUSHI HIWASA	SH 徳田 健太 KENTA TOKUDA	SH 中嶋 大希 DAIKI NAKAJIMA	SH 25年度新加入 上村 樹輝 ITSUKI KAMIMURA	SO ブリン・ガットランド BRYN GATLAND	CTB ラファエレティモシー TIMOTHY LAFAELE	CTB マイケル・リトル MICHAEL LITTLE
CTB 25年度新加入 アントン・レイナートブラウン ANTON LIENERT-BROWN	CTB タリロトウ・ファカトゥロロ TALILOTU FAKATULULO	CTB 25年度新加入 ハリス マック MAC HARRIS	CTB 26年度新加入 大町 佳生 YOSHIKI OMACHI	CTB タリ・イオアサ TALI IOASA	WTB アタアタ・モエアキオラ ATAATA MOEAKIOLA	WTB イノケ・ブルア INOKE BURUA	WTB 杉本 崇馬 SOMA SUGIMOTO

TEAM STAFF 【チームスタッフ】

ラグビーセンター担当役員
 テレグラファー
 チームディレクター
 ラグビーコーチメンター/チームアンバサダー
 テレグラファー/ラグビーヘッドコーチ
 FWコーチ
 アタックコーチ
 ディフェンスコーチ
 BKコーチ/アカデミーコーチ
 スタムコーチ
 スキルコーチ
 ヘッドスレティックパフォーマンスコーチ
 シニアS&Cコーチ
 S&Cコーチ
 アシスタントS&Cコーチ
 チームマネージャー
 アシスタントチームマネージャー
 チーフアドミニストレーター
 アドミニストレーター
 チームメディアマネージャー
 普及・アカデミーコーチ
 普及・アカデミーコーチ

中森 慶太郎
 廣畑 純也
 弘津 英司
 ウェイン・スミス
 ティフ・レニー
 ダン・マクファーランド
 マイク・フレア
 ビート・マーチ
 森田 恭平
 平島 久照
 クレイグ・スチュワート
 フィル・ヒーリー
 ヘイデン・ネルソン
 中村 龍
 佐々木 貴大
 藤 高之
 沢居 寛也
 白原 真菜美
 白原 翠
 田中大治郎
 今村 康一
 普及・アカデミーコーチ
 山本 幸輝

リクルート
 イベント/ラグビー/ラグビーネットワーク
 コーディネーター
 通訳
 通訳
 尾崎 悠馬
 ヘッドアナリスト
 アナリスト
 アナリスト
 チーフアシスレティックトレーナー
 アスレティックトレーナー
 アスレティックトレーナー
 アスレティックトレーナー
 セラピスト
 プレーヤーライフサポート
 栄養士
 アドバイザー
 アンバサダー
 チームドクター
 チームドクター
 チームドクター
 チームドクター
 チームドクター
 チームドクター

松井 祥寛
 ジョー・ラッシュ
 山口 興
 濱本 聡仁
 尾崎 悠馬
 アラン・ホッジ
 山家 壮貴
 森松 智太
 五明 浩一郎
 谷山 大季
 佐藤 秀幸
 船田 涼平
 西村 彰徳
 佐藤 涼秀
 木戸 清香
 増保 輝則
 大塚 大介
 黒田 良祐
 松本 悠生
 河本 龍哉
 星野 祐一
 黒田 健太郎
 亀長 智幸

WTB 濱野 隼大 JUNTA HAMANO	WTB 船曳 涼太 RYOTA FUNABIKI	WTB 25年度新加入 植田 和磨 KAZUMA UEDA	FB 井関 信介 SHINSUKE ISEKI	FB 松永 貴汰 KANTA MATSUNAGA
UTB 共同キャプテン 李 承信 SEUNGSIN LEE	UTB 伊藤 大祐 DAISUKE ITO	UTB 25年度新加入 辻野 隼大 HAYATA TSUJINO	UTB 26年度新加入 上ノ坊 駿介 SHUNSUKE UENOBO	

引退選手 中島 イシレリ / アッシュ・ディクソン / 小瀧 尚弘 / カヴァイア・タギヴェタウア / ワイサケ・ララトゥプア / 前田 剛 / ソセフォ・ファカタヴァ / アーディ・サベア / アントン・レイナートブラウン / 杉本 崇馬 / 濱野 隼大

SEASON RESULT 【シーズン成績】

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2025-26 | NTT

■ リーグ戦成績

18試合 16勝 2負 勝点75 1位

ホストゲーム [9試合開催] ホストゲーム総観客数: 88,861人 ホストゲーム平均観客数: 9,873人

マッチデーパートナー	節	試合日	対戦チーム	試合会場	試合結果	スコア	観客数
神戸新聞DAY	第1節 HOST	12月13日(土)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	兵庫/ノエスタ	●	28-33	20,207
-	第2節 VISITOR	12月21日(日)	三重ホンダヒート	三重/鈴鹿	○	28-23	3,188
-	第3節 HOST	12月27日(土)	トヨタヴェルブリッツ	兵庫/ノエスタ	○	49-29	8,759
-	第4節 VISITOR	1月10日(土)	東京サントリーサンゴリアス	東京/味の素	○	22-20	17,040
大林組 MAKE BEYONDマッチ	第5節 HOST	1月17日(土)	リコーブラックラムズ東京	兵庫/ユニバ	○	67-21	6,049
-	第6節 VISITOR	1月24日(土)	横浜キャノンイーグルス	神奈川/ニッパツ	○	38-32	6,175
-	第7節 HOST	2月7日(土)	静岡ブルーレヴズ	兵庫/ユニバ	○	60-45	4,671
-	第8節 VISITOR	2月15日(日)	東芝ブレイブルーパス東京	東京/秩父宮	○	34-33	13,156
日本郵船スペシャルマッチ	第9節 HOST	2月21日(土)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	兵庫/ユニバ	○	40-24	9,482
-	第10節 VISITOR	2月28日(土)	浦安D-Rocks	東京/駒沢	○	78-19	4,612
中嶋産業スペシャルマッチ	第11節 HOST	3月14日(土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	兵庫/ユニバ	○	61-10	7,146
大和ハウスグループスペシャルマッチ	第12節 HOST	3月20日(金・祝)	横浜キャノンイーグルス	兵庫/ユニバ	●	29-38	11,416
-	第13節 VISITOR	3月28日(土)	静岡ブルーレヴズ	静岡/IAI	○	41-20	7,702
-	第14節 VISITOR	4月5日(日)	リコーブラックラムズ東京	東京/秩父宮	○	40-19	8,103
-	第15節 VISITOR	4月18日(土)	トヨタヴェルブリッツ	愛知/豊田	○	38-24	24,354
"K" LINEスペシャルサンクスマッチ	第16節 HOST	4月25日(土)	東京サントリーサンゴリアス	兵庫/ユニバ	○	49-28	10,406
-	第17節 HOST	5月2日(土)	三重ホンダヒート	大阪/花園	○	24-19	10,725
-	第18節 VISITOR	5月10日(日)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	東京/えどりく	○	24-19	5,530

ホストゲーム
歴代最多
入場者数

■ プレーオフトーナメント

	試合日	対戦チーム	試合会場	試合結果	スコア	観客数
準決勝	5月30日(土)	東京サントリーサンゴリアス	東京/秩父宮	○	69-23	15,412
決勝	6月7日(日)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	東京/MUFG国立	○	22-13	50,451

■ リーグ戦

順位	チーム	試合数	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1	コベルコ神戸スティーラーズ	18	75	16	0	2	750	456	294
2	埼玉パナソニックワイルドナイツ	18	74	16	0	2	664	336	328
3	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	18	70	14	0	4	709	357	352
4	東京サントリーサンゴリアス	18	48	9	0	9	625	538	87
5	リコーブラックラムズ東京	18	41	9	0	9	502	551	-49
6	東芝ブレイブルーパス東京	18	39	8	0	10	478	628	-150
7	静岡ブルーレヴズ	18	36	7	0	11	579	617	-38
8	三重ホンダヒート	18	34	7	0	11	475	611	-136
9	トヨタヴェルブリッツ	18	33	7	0	11	541	585	-44
10	横浜キャノンイーグルス	18	30	6	0	12	454	597	-143
11	浦安D-Rocks	18	20	5	0	13	421	711	-290
12	三菱重工相模原ダイナボアーズ	18	20	4	0	14	425	636	-211

■ 最終順位

順位	チーム
1	コベルコ神戸スティーラーズ
2	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ
3	埼玉パナソニックワイルドナイツ
4	東京サントリーサンゴリアス
5	リコーブラックラムズ東京
6	東芝ブレイブルーパス東京
7	静岡ブルーレヴズ
8	三重ホンダヒート
9	トヨタヴェルブリッツ
10	横浜キャノンイーグルス
11	浦安D-Rocks
12	三菱重工相模原ダイナボアーズ

AWARD 【NTT ジャパンラグビー リーグワン2025-26 アワード】

チーム表彰

ディビジョン1 優勝

コベルコ神戸スティーラーズ (初優勝)

ベストタックラー (D1)

FL ティエナン・コストリー (初受賞)
283回うち245回成功、成功率86.6%

ベストフィフティーン

LO プロディ・レタリック (2季連続2回目)
※トップリーグ2021シーズンにも受賞歴あり
FL アーディ・サベア (2季ぶり2回目)
FL ティエナン・コストリー (初受賞)
CTB アントン・レイナートブラウン (初受賞)
CTB タリ・イオアサ (初受賞)

個人表彰

MVP (D1)

LO プロディ・レタリック (初受賞)

優秀ヘッドコーチ賞 (D1)

デイブ・レニー (初受賞)

新人賞

FB 上ノ坊 駿介
※アーリーエントリーとして初の同賞受賞

功労賞

PR 山下 裕史 (2季ぶり2回目)
※トップリーグのリーグ戦とリーグワンの公式戦出場試合数が214試合、歴代最多出場記録を更新

プレーヤーズ・チョイス・プライズ

プレーヤー・オブ・ザ・シーズン (D1)

LO プロディ・レタリック (初受賞)
※選手による投票で選ばれた、対戦相手として最も苦しめられた選手に贈られる賞

最多トライゲッター (D1)

LO プロディ・レタリック (初受賞)
リーグ通算17トライ

TEAM ACTIVITIES & INDIVIDUAL RECORDS 【チーム活動・個人記録】

TEAM ACTIVITIES 【チーム活動】

2025		2026	
9月	4日 NTTリーグワン2025-26に向けて本格始動	12日 2026年度新加入選手発表	
	21日~27日 宮崎キャンプ		
11月	プレシーズンマッチ クボタスピアーズ船橋・東京ベイ戦 (神戸G)	16日 「阪神淡路大震災1.17のつどい」に参加	24日 トレーニングマッチ 豊田自動織機シャトルズ愛知戦 (神戸G)
	1日 コベルコ神戸スティーラーズフェスタ2025	2月	
	8日 プレシーズンマッチ マツダスカイアクティブズ広島戦 (広島BMWG)		3月
	15日 プレシーズンマッチ 静岡ブルーレヴズ戦 (神戸G)	28日 トレーニングマッチ レッドハリケーンズ大阪戦 (神戸G)	
	26日 兵庫県、神戸市、神戸新聞社を表敬訪問	4月	25日 トレーニングマッチ U20日本代表候補戦 (神戸G)
29日 プレシーズンマッチ トヨタヴェルブリッツ戦 (瑞穂)	5月		23日~6月7日 NTTリーグワン2025-26プレーオフトーナメント
プレシーズンマッチ 花園近鉄ライナーズ戦 (神戸G)		12月	10日 シーズン総括記者会見
5日 NTTリーグワン2025-26開幕前記者会見	6月		11日 シーズン終了報告のため、神戸市、神戸新聞社を表敬訪問
アーディ・サベア、アントン・レイナートブラウン入団会見		12日 パートナー報告会	
13日~5月10日 NTTリーグワン2025-26(リーグ戦全18試合)	13日 納会、Steel Mates感謝祭2025-26		
27日 トレーニングマッチ レッドハリケーンズ大阪戦 (神戸G)	17日 東遊園地 (神戸市中央区)にて優勝報告会		
パートナー決起集会			

INDIVIDUAL RECORDS 【個人記録】

PR 山下 裕史 「リーグ通算200試合出場達成」

- **初出場試合**
2008年9月6日 トップリーグ2008-2009 第1節 NECグリーンロケッツ戦 (ヤンマースタジアム)
- **リーグ通算100試合出場達成試合**
2016年9月10日 トップリーグ2016-2017 第3節 コカ・コーラレッドスパークス戦 (石川県西部緑地公園陸上競技場)
- **リーグ歴代最多出場記録更新 (178試合)**
2024年5月4日 NTTリーグワン2023-24 第16節 三重ホンダヒート戦 (三重交通G スポーツの杜 鈴鹿)
- **リーグ通算200試合出場達成試合**
2025年12月27日 NTTリーグワン2025-26 第3節 トヨタヴェルブリッツ戦 (ノエビアスタジアム神戸)



SO ブリン・ガットランド 「通算500得点達成」

NTTリーグワン2023-24(リーグ戦) 217得点
 NTTリーグワン2024-25(リーグ戦・プレーオフ) 190得点
 NTTリーグワン2025-26(リーグ戦・プレーオフ) 106得点

- **500得点達成試合**
2026年4月5日 NTTリーグワン2025-26 第14節 リコーブラックラムズ東京戦 (秩父宮ラグビー場)



日本全国、さらには世界へ羽ばたいていける選手の育成をコンセプトとしたアカデミーは2025年度で創設から5年目を迎えました。2025年度もリーグワンチームのアカデミーやラグビースクールなどと交流試合を行い、積み上げてきたトレーニングの成果を感じることができました。

2025年度アカデミー概要

場所：コベルコ神戸スティーラーズラグビーグラウンド
 登録選手数：96名(小学5、6年生35名 中学生61名)
 活動日数：39回
 (トレーニング：39回 試合：小学5、6年生2回 中学生3回)

▶試合結果

小学5・6年生の部	
9月20日	吹田ラグビースクール 5年生 1勝2敗1分 / 6年生 3勝1分
2月23日	花園近鉄ライナーズラグビーアカデミー 5年生 2勝 / 6年生 2勝
中学生の部	
7月21日	吹田ラグビースクール 1年生 1勝2敗 / 2、3年生 2勝1敗
11月24日	東海大学付属大阪仰星高等学校中等部 3年生主体 24-22 勝ち / 2年生主体 31-24 勝ち 1年生主体 72-0 勝ち
2月14日	花園近鉄ライナーズラグビーアカデミー 21-38 負け

VALUE 【実現したい未来】

- ・兵庫県から日本ラグビーをリードし、世界で活躍できる選手を育成する。

MISSION 【使命・存在意義】

- ・平日に子供たちにラグビーができる環境を提供し、兵庫県のラグビー普及に寄与する。
- ・ラグビー(スポーツ)を通じて、豊かな人間形成に寄与する。

POLICY 【方針】

- ・ラグビーの構造を理解し、ハンドリング、状況判断といった基本スキルを高いレベルで遂行できるようにサポートする。
- ・楽しいからこそ、成長できる環境を作る。
- ・自ら考える力、決断する力、自分の考えを周囲に伝える力、そして傾聴する力を身につけ、自主性・主体性を持って行動できる魅力ある人間形成をサポートする。

アカデミースタッフ

校長：弘津 英司
 副校長：本田 康信
 事務局長：小牧 慶太
 中学生ヘッドコーチ：森田 恭平
 小学生ヘッドコーチ：山本 幸輝
 コーチ：今村 順一 / 長崎 健太郎 / 大石 嶺 / 濱島 悠輔 / 竹内 佳乃 (2025年7月まで)
 S&Cコーチ：中村 龍 (2026年6月まで)
 アスレティックトレーナー：佐藤 秀幸
 アナリスト：森松 禅太



コベルコ神戸スティーラーズはホストエリアの神戸市と連携し、タグラグビー&ラグビー体験教室を実施するほか、小学生の大会を開催し、ラグビーの普及と育成、発展に取り組んでおります。

■コベルコ神戸スティーラーズ小学校卒業記念交流戦

3月14日(土)神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で開催の第11節三菱重工相模原ダイナボアーズ戦の前に「コベルコ神戸スティーラーズ小学校卒業記念交流戦」を開催。この大会は、大畑大介アンバサダーの「レギュラーであるなし関係なく6年生全員がチームのユニフォームを着て、勝敗にこだわることなく試合をし、小学校最後の思い出を作してほしい」との思いから2022年より実施しており、今年で5回目となります。交流戦には兵庫県下の19ラグビースクールおよびクラブの総勢300人が参加。また兵庫県内5、6年生の女子選手が「なでしこ兵庫」「さくら兵庫」の2チームに分かれて対戦する「ガールズマッチ」も実施しました。



■神戸スティーラーズカップ

6月20日(土)・21日(日)にコベルコ神戸スティーラーズラグビーグラウンド、KOBELCOスポーツパーク人工芝グラウンドにて兵庫県下の20チーム、総勢約300人が参加し、「神戸スティーラーズカップ2026」を開催しました。この大会は、小学生ラグビーの普及と育成・発展、および試合機会の創出、プレーヤー達が主体性を発揮できる環境を提供すること、卒業後もラグビーを続けるきっかけ作りを目的としています。両日ともにコーチ、保護者が見守る中で白熱したゲームが繰り広げられました。



■タグラグビー&ラグビー体験教室

神戸市文化スポーツ局、神戸市教育委員会と連携し、年間30校の小学校にてラグビー教室を実施しました。実施した学校にはラグビーボール5球をプレゼント。この活動を通じて、子ども達にチームワークの大切さ、おもいやりの心を学んでもらえるよう取り組んできました。



■スポーツNPO法人SCIXとの事業連携

2022年11月1日、神戸を拠点に活動するスポーツNPO法人SCIX(初代理事長・平尾誠二)と事業連携協定を締結。スポーツおよびラグビーの振興と子ども達の健全育成、人材育成、神戸市民の健康増進や地域活性化を協働して取り組んでいます。



HIGH SCHOOL RUGBY SUPPORT PROGRAM

≫ 高校ラグビー協賛事業

KOBELCOグループは、スポーツによる社会貢献の一環として、創業100周年を機に2005年から高校ラグビーへの特別協賛を開始しました。「KOBELCO CUP」は、単独でチームを編成できない環境にある高校生に出場機会を提供する大会として重要な役割を担っており、「全国高校ラグビー大会(花園)」への特別協賛と合わせて、高校ラグビーの育成や裾野拡大に取り組んでいます。

■「KOBELCO CUP2025」開催

KOBELCOグループが特別協賛する「KOBELCO CUP2025」(第21回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会、第15回全国高等学校女子合同チームラグビーフットボール大会)が、2025年7月31日(木)から8月3日(日)までアンダーアーチャー菅サニアパークで開催されました。全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会では、全国9ブロックから選抜された選手による試合を通じて、ラグビーに必要な基礎体力・技術・知識の向上を図る「U17の部」が行われており、近畿ブロックが3連覇を達成しました。また、単独ではチームを編成できない部員不足の高校の生徒で選抜チームを編成した「U18の部」では、昨年に続き九州ブロックが優勝しました。15回目の節目を迎えた「全国高等学校女子合同チームラグビーフットボール大会」でも、九州ブロックが連覇を達成。さらに、本大会では、神戸製鋼所の創業120周年を記念し、初の試みとして、台湾の高校生代表チームの招聘や国内クラブチーム選抜の参加など、大会の枠を広げて開催しました。選手同士の交流機会の創出や、コベルコ神戸スティーラーズによるラグビークリニックの開催を通じ、国際的な交流の場を提供しました。また大会には現役選手14名、スタッフ3名の17名を派遣し、U18および女子チームへの指導も行いました。今後も大会の開催目的であるラグビー競技の普及と競技人口の裾野拡大に取り組んでいきます。



U18男子の北海道ブロックを担当した渡邊 隆之選手



松永 貴汰選手は女子の東海ブロックを指導



優勝した女子の九州ブロックを担当した小瀬尚弘選手



神戸製鋼所の創業120周年を記念し、招聘された台湾の高校生代表チームを指導する徳田健太選手

■「全国高校ラグビー大会」への特別協賛

KOBELCOグループが特別協賛する「第105回全国高校ラグビー大会」が、2025年12月27日から2026年1月7日まで東大阪市花園ラグビー場で開催されました。本大会期間中には、2025年夏に行われた「KOBELCO CUP2025」(第21回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会、第15回全国高等学校女子合同チームラグビーフットボール大会)から選抜された選手が東西に分かれて「聖地・花園」で試合を行う「第18回U18合同チーム東西対抗戦～もうひとつの花園～」[U18花園女子15人制]が実施され、高校生ラグビーの聖地・花園で熱戦を繰り広げました。今後も「KOBELCO CUP」と合わせて、ラグビー競技の普及・競技人口の裾野開拓に加え、世界で活躍する次世代の育成に取り組んでいきます。



©KRPU Kozue Shinyasiki
12月27日(土)に行われた開会式の様子



©KRPU Yuki Teraoka
3大会連続6回目の優勝を達成した桐蔭学園(神奈川県)



©KRPU Takao Watanabe
開会式直後に行われ熱戦を展開した「U18花園女子15人制」



©KRPU Yuki Teraoka
1月5日(月)の準決勝前には「第18回U18合同チーム東西対抗戦」を実施

HOST AREA ACTIVITIES

≫≫ ホストエリア活動

神戸市を含む、兵庫県全域をホストエリアとして定め、地域社会に貢献できるよう活動してまいりました。



KOBE 
CITY of DESIGN



2021年9月28日、ラグビーを通じたスポーツ振興、市民の健康増進、地域活性化等を推進することを目的に事業連携協定を締結。コベルコ神戸スティーラーズは、保有リソースを活用した地域貢献活動により一層取り組み、神戸市とともに歩みます。

事業連携協定の目的

- 1 スポーツの振興およびラグビーワールドカップのレガシー創出
- 2 市民の健康増進、青少年の健全育成、豊かな社会生活の実現
- 3 地域活性化
- 4 国内外への神戸の魅力発信

 **兵庫県**
Hyogo Prefecture



2023年11月9日にスポーツ振興や地域創生などを中心に連携していくことで合意し包括連携協定を締結。子ども達の試合観戦招待企画や県内大学と連携した地域活性化の取り組みなどの活動を通じて地域・社会に貢献できるよう努めています。

包括連携協定の内容

- 1 ラグビーを通じたスポーツ振興
- 2 産官学の連携による地域創生
- 3 大震災の教訓を風化させない
- 4 アスリートによる”食の大切さ”の発言

WITH KOBE

【神戸市各局との事業連携】

■文化スポーツ局/教育委員会

〈神戸市全小・中・高校生へ
試合観戦招待〉



2月21日(土)の第9節と3月14日(土)の第11節の2試合で実施

〈タグラグビー&ラグビー
体験教室の実施〉



神戸市内の小学校30校にて実施

■文化スポーツ局 スポーツ交流課

〈「神戸市民応援デー」を実施〉



1月17日(土)の第5節リコーブラックラムズ東京戦にて実施

〈神戸を拠点とする各スポーツチームの紹介コーナー設置〉



現在建設工事が進められているJR三ノ宮駅南側エリアの囲い壁面に設置(11月1日~2026年6月29日)

〈ラグビー×人権教室の実施〉



パス回しの勝負やリレーなどを行った後、ラグビー人権教室へ。神戸市主催のラグビー人権教室は今年で12回目の開催

■文化スポーツ局 /各区役所
〈コーロクンぬいぐるみ展示〉



市役所、各区役所の市民窓口で神戸市を拠点とするスポーツチームのマスコットキャラクターのぬいぐるみを展示

■須磨区地域協働課

〈スマハマプロジェクト「コベルコ神戸スティーラーズが須磨海岸にやってくる!」に参加〉



神戸市内の小学生とその保護者と一緒に須磨海岸ビーチクリーン活動を行った後、ラグビー体験を実施。小瀧 尚弘選手と伊藤 大祐選手が参加

■公益財団法人 神戸市スポーツ協会
〈神戸市民の試合観戦招待〉



3月20日(金・祝)の第12節横浜キヤノンイーグルス戦にてファミリー観戦会を実施

■建設局 森林課

〈「森の未来都市 神戸」のPR動画に船曳 涼太選手が出演〉



建設局が取り組む「森の未来都市 神戸」のPR動画に神戸市出身である船曳 涼太選手が出演

■交通局 営業推進課

〈神戸市営地下鉄の車内にチーム紹介掲出〉



12月から2026年4月末まで掲出

■公益財団法人 こうべ産業・就労支援財団

〈試合会場で神戸セレクションブースの出店〉



1月17日(土)に「神戸市民応援デー」として開催された第5節リコーブラックラムズ東京戦の試合会場で神戸セレクションブースを出店

■消防局/須磨消防署

〈試合会場での相互PR〉



3月14日(土)の第11節では消防車を展示、3月20日(金・祝)の第12節では神戸市消防音楽隊が演奏を披露

■こども家庭局 幼保振興課

〈「第10回 kobeっこ親善ラグビー大会」に参加〉



しあわせの村にて開催された大会にコーロクンと兵庫県マスコットのはばタンが表彰式に登壇

WITH HYOGO 【兵庫県各部局との事業連携】

■ 県民生活部 スポーツ振興課

〈兵庫県および県内各自治体と「兵庫県民応援デー」を実施〉



3月20日(金・祝)の第12節横浜キャノンイーグルス戦にてすべての兵庫県民を対象に実施

〈「ひょうごスポーツコミッション」に参画〉



2026年4月1日に設立された「ひょうごスポーツコミッション」にHYOGO ATHLETE PARTNERSの1団体として参画

■ 県民生活部 スポーツ振興課ほか各部局

〈試合会場で兵庫県関連ブースを出展〉



3月20日(金・祝)の第12節横浜キャノンイーグルス戦は「兵庫県民応援デー」として開催され、試合会場には兵庫県物産や観光PR、兵庫県政紹介など兵庫県に関連するブースを出展

〈試合会場で「防災スポーツ®」体験を実施〉



阪神・淡路大震災から31年を迎えた1月17日(土)の第5節リコーブラックラムズ東京戦に場外イベントとして「防災スポーツ®」体験を実施

〈ラグビー普及啓発事業を実施〉



タグラグビー教室を5回実施(洲本市・三田市・播磨市・高砂市・明石市)

■ 県民生活部 スポーツ振興課 / 兵庫県立大学

〈産官学連携事業 兵庫県立大学との「兵庫県民応援デー 観戦キャンペーン企画」実施〉



学生による動画配信やチラシ作成を通じて集客キャンペーンを実施

■各自治体

〈各自治体と「市民応援デー」を実施〉



12月27日(土)の第3節トヨタヴェルブリッツ戦にて東播西播・阪神エリアの自治体を対象に実施

■環境部 環境整備課

〈ラグビー体験を実施〉



9月20日(土)神戸市中央区にて開催の「クリーンアップひょうごキャンペーン Grateful Day」でラグビー体験を実施

■各地域の伝統工芸品

〈コラボグッズ発売〉



兵庫県を代表する伝統工芸品である「豊岡鞆」「ひょうごレザー」「播州織」「丹波立杭焼」とのコラボグッズを発売

■兵庫県おいしいごはんを食べよう 県民運動推進協議会

〈兵庫県おいしいごはんを食べよう 県民運動推進協議会への協力〉



兵庫県内で開催したホストゲーム7試合でのハーフタイム抽選会において、お米(西播米穀株式会社の兵庫県産新品種米コノホシ)をプレゼント(各試合5kgを1名様)

■企画部SDGs推進課

〈「ひょうご あるくと大運動会」にチームグッズを提供〉



兵庫県が取り組む事業所対抗ウォーキングイベント「ひょうごあるくと大運動会」に賛同し、チームグッズを賞品として提供

■兵庫県警察 / 須磨警察署

〈試合会場での相互PR〉



3月14日(土)の第11節三菱重工相模原ダイナボアーズ戦にて警察車両の展示や兵庫県警察音楽隊による演奏を実施

REGIONAL COOPERATION 【地域連携事業】

地域と連携し、さまざまな活動を行いました。

■ 地域連携

〈兵庫県、神戸市、神戸新聞社を表敬訪問〉



NTTリーグワン2025-26の開幕に向け、11月26日(水)に兵庫県、神戸市、神戸新聞社を表敬訪問

〈トライやる・ウィーク事前学習に協力〉



神戸市立渚中学校へ松岡 賢太選手、中嶋 大希選手、船曳 涼太選手、井関 信介選手が訪問し、トライやる・ウィーク事前学習に協力

〈「阪神淡路大震災1.17のつどい」に参加〉



毎年1月16日、17日に神戸市中央区の東遊園地で行われる「阪神淡路大震災1.17のつどい」に選手、スタッフ全員が参加

■ 社会貢献

〈チャイルド・ケモ・ハウス訪問〉



兵庫県立こども病院などで小児がんや難病の治療を受けるために滞在する子どもとその家族と一緒に過ごせる滞在施設に選手が訪問

〈見守り隊活動〉



2019年6月より実施する神戸製鋼所神戸本社のあるHAT地区の小学校で小学生の登下校時に見守り活動を今年も実施

〈兵庫盲導犬協会〉



3月20日(金・祝)の第12節横浜キヤノンイーグルス戦にて兵庫盲導犬協会の活動を支援

〈兵庫県スクール選抜へのサポート〉



これまでも練習場所の提供や現役選手によるコーチングなどのサポートを行ってきたが、サポートの一環として、練習時に着用するビブスを贈呈

〈北海道網走市にてラグビークリニック実施〉



8月3日(日)・4日(月)に北出 卓也選手、ソロモネ・フナキ選手、伊藤 大祐選手が北見工業高等学校、北見北斗高等学校、遠軽高等学校の約50名と美幌少年団と遠軽ラグビースクールの中学生約20名を対象にラグビー指導を実施

〈山本 幸輝普及・アカデミーコーチが講演〉



2月2日(月)兵庫県立北摂三田高等学校において特別授業の一環として山本 幸輝普及・アカデミーコーチが2年6組の38名に講演

〈日本ラグビーフットボール協会主催の「英語でラグビー」に協力〉



ソロモネ・フナキ選手、ティエナン・コストリー選手が参加。小学生30名と英語でコミュニケーションを取りながらラグビーをプレー

〈「KOBELCOの森で遊ぼう!学ぼう!」に参加〉



KOBELCOの森にて開催される森を学べるイベント「KOBELCOの森で遊ぼう!学ぼう!」にシオネ・シメ・マウ選手とタリロトゥ・ファアトゥロロ選手が参加

〈神戸大学医学部附属病院小児医療センター訪問〉



デイブ・レニーHCと選手5名が訪問し、小児医療センターの子どもたちと交流

■ イベント参加

〈第28回四国中央市ラグビースクール祭〉



第1回目からチームとして参加しており、今回は森脇 光選手、福西 隼杜選手、橋本 皓選手、船曳 涼太選手、井関 信介選手が参加

〈加古川RS主催のタッチラグビー大会〉



杉本 崇馬選手、船曳 涼太選手、長崎 健太郎普及・アカデミーコーチが参加

〈放課後タグラグビー教室 in 神戸〉



渡邊 隆之選手、井関 信介選手が参加し、約40名の小・中学生と一緒にタグラグビーをプレー

〈第42回元町夜市〉



トークショーに具 智元選手が出演。ラグビー体験も実施

〈第53回神戸まつり〉



ラグビー体験を実施。約400名が参加

〈第15回 UNIVER祭〉



ラグビー体験の実施やオリジナルうちわを配布

〈阪神・淡路大震災30年事業「POWER OF KOBE」〉



Photo by Viola Kam(Vz Twinkle)@vizkage
オフィシャルチームソング「[Song of Steelers]を歌う[Fear, and Loathing in Las Vegas]のステージにコーロクンが出演

〈Universal Dance Festival2025〉



ラグビー体験を実施。約100名が参加

〈甲子園キッズフェスタ〉



パスターゲットを実施し、子どもを中心に約700名が参加

〈KOBE AUTUMN FESTIVAL〉



渡邊 隆之選手、本橋 拓馬選手、前田 翔選手、徳田 健太選手とコーロクンが綱引き大会や大玉転がしに参加

〈SANNOMIYA COLLECTION 2025 A/W〉



山本 幸輝普及・アカデミーコーチとコーロクンが参加。ブースではオリジナルうちわを配布

〈第35回加古川ツデーマーチ〉



チームPRブースを出展

〈神戸マラソン2025〉



チームPRブースを出展

〈御影クラッセにコベルコ神戸スティーラーズがやってくる!〉



オフィシャルグッズ販売会やパスターゲットを実施

〈生田神社の節分祭・豆撒き神事〉



コーロクンが参列

FAN CLUB -STEEL MATES-

≫ ファンクラブ

チーム公式ファンクラブは、2025年9月から2026年4月まで会員を募集し、最上位カテゴリ「プレミアム」をはじめ、ゴールドとリモートの特典を組み合わせた新設カテゴリ「リモート+G」を含む6つの有料カテゴリと無料会員合わせて9,598名の方々にご入会いただきました。また、-hostゲーム恒例の試合会場限定抽選イベントでは、プレミアム/ゴールド会員限定イベント「選手バス出迎え隊」をはじめ、「ビッグジャージベアラー」、「キックオフボールプレゼンター」、「プレーヤー・オブ・ザ・マッチプレゼンター」、「コベルコ神戸ビーフ賞プレゼンター」を実施。さらに今シーズンは「選手バス見送り隊」を新設、合わせて約500名の方々に有料会員でしか体験できない限定イベントをお楽しみいただきました。その他、シーズン終了後の6月13日(土)には恒例の「ファン感謝祭(Steel Mates感謝祭)」をKOBELCOスポーツパークにて開催し、約1,600名の有料会員の方々にご参加いただきました。

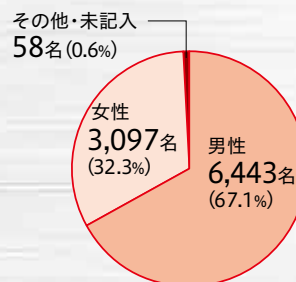
2025-26シーズン会員情報 ※2026年5月31日時点

有料会員：6,237名(昨年度比 -281名)
(継続4,851名(継続率77.8%) 新規1,386名)

無料会員：3,361名(昨年度比 +2,268名)

計：9,598名(昨年度比 +2,066名)

2025-26シーズン会員男女内訳



<ファンクラブ会員向け実施イベント>

- ・ポイントサービス(来場ポイント・ラストライクイズ)
- ・来場記録付与サービス(ビジターゲーム)
- ・プレミアム/ゴールド会員限定クラブハウスツアー
- ・プレミアム/ゴールド会員限定選手バス出迎え隊
- ・有料会員限定ビッグジャージベアラー
- ・有料会員限定キックオフボールプレゼンター

- ・有料会員限定プレーヤー・オブ・ザ・マッチプレゼンター
- ・有料会員限定コベルコ神戸ビーフ賞プレゼンター
- ・有料会員限定選手バス見送り隊
- ・有料会員限定ビジターゲーム観戦会
- ・有料会員限定ファン感謝祭



ポイントサービス



クラブハウスツアー



ビジターゲーム観戦会



ビッグジャージベアラー



キックオフボールプレゼンター



プレーヤー・オブ・ザ・マッチプレゼンター



コベルコ神戸ビーフ賞プレゼンター



選手バス出迎え隊



選手バス見送り隊



Steel Mates感謝祭2025-26

HOST GAME TICKET

≫≫ ホストゲームチケット

昨シーズンから導入している「シーズンシート」をはじめ、昨シーズンの指定席(市松配席)運用から、より一体感を持って応援しやすいエリア自由席へ変更した「スティーラーズ応援シート」、ノエビアスタジアム神戸開催試合限定の「ボックスシート」を販売しました。また、自由席からのアップグレードや、雨天時の席種変更といったサービスも引き続き実施し、ご好評をいただきました。

ノエビアスタジアム神戸

第1節 12月13日(土)クボタスピアーズ船橋・東京ベイ **A**
第3節 12月27日(土)トヨタヴェルブリッツ **A**

席種	A 価格	B 価格
①ロイヤルシート	9,000円	8,000円
②メインSS 指定席前段	7,500円	6,500円
③メインSS 指定席後段	6,000円	5,500円
④メインS 指定席	大人 5,000円	4,500円
	小中高 2,000円	1,500円
⑤メインA 指定席	大人 4,000円	3,500円
	小中高 1,500円	1,000円
⑥バックSS 指定席前段	大人 5,000円	4,500円
	小中高 2,000円	1,500円
⑦バックSS 指定席後段	大人 4,000円	3,500円
	小中高 1,500円	1,000円
⑧バックS 指定席	大人 3,500円	3,000円
	小中高 1,000円	500円
⑨スティーラーズ応援シート (エリア自由席)	大人 3,000円	2,500円
	小中高 1,000円	500円
⑩自由席エリア	大人 3,000円	2,500円
	小中高 1,000円	500円
⑪車椅子指定席	2,500円	2,000円

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

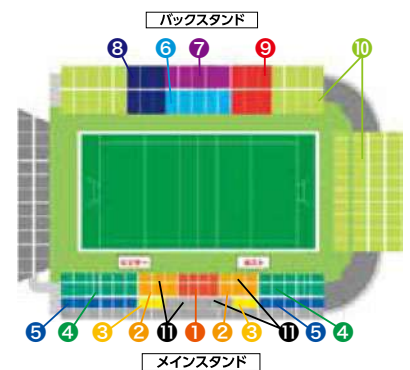
第5節 1月17日(土)リコーブラックラムズ東京 **B**
第7節 2月 7日(土)静岡ブルーレヴズ **B**
第9節 2月21日(土)埼玉ソニックワイルドナイツ **A**
第11節 3月14日(土)三菱重工相模原ダイナボアーズ **B**
第12節 3月20日(金)横浜キャノンイーグルス **B**
第16節 4月25日(土)東京サントリーサンゴリアス **A**

席種	A 価格	B 価格
①ピッチサイドシート	9,000円	8,000円
②ロイヤルシート	9,000円	8,000円
③メインSS 指定席前段	7,500円	6,500円
④メインSS 指定席後段	6,000円	5,500円
⑤メインS 指定席	大人 5,000円	4,500円
	小中高 2,000円	1,500円
⑥メインA 指定席	大人 4,000円	3,500円
	小中高 1,500円	1,000円
⑦バックSS 指定席 (50%市松配席)	大人 5,000円	4,500円
	小中高 2,000円	1,500円
⑧バックS 指定席 (50%市松配席)	大人 3,500円	3,000円
	小中高 1,000円	500円
⑨スティーラーズ応援シート (エリア自由席)	大人 3,000円	2,500円
	小中高 1,000円	500円
⑩自由席エリア	大人 3,000円	2,500円
	小中高 1,000円	500円
⑪車椅子指定席	2,500円	2,000円

東大阪市花園ラグビー場

第16節 5月 2日(土)三重ホンダヒート **B**

席種	A 価格	B 価格
①ロイヤルシート	9,000円	8,000円
②メインSS 指定席前段	7,500円	6,500円
③メインSS 指定席後段	6,000円	5,500円
④メインS 指定席	大人 5,000円	4,500円
	小中高 2,000円	1,500円
⑤メインA 指定席	大人 4,000円	3,500円
	小中高 1,500円	1,000円
⑥バックSS 指定席前段	大人 5,000円	4,500円
	小中高 2,000円	1,500円
⑦バックSS 指定席後段	大人 4,000円	3,500円
	小中高 1,500円	1,000円
⑧バックS 指定席	大人 3,500円	3,000円
	小中高 1,000円	500円
⑨スティーラーズ応援シート (エリア自由席)	大人 3,000円	2,500円
	小中高 1,000円	500円
⑩自由席エリア	大人 3,000円	2,500円
	小中高 1,000円	500円
⑪車椅子指定席	2,500円	2,000円



NEW スティーラーズ応援シート

声出し応援を推奨するエリアとして、バックスタンドのホストエリア側22mラインからゴールライン付近に設けている「スティーラーズ応援シート」を、昨シーズンの指定席(市松配席)からエリア自由席へ変更しました。より一体感を持って応援しやすい環境とし、スティールメイツの皆さまの気持ちをひとつにして、選手へ熱い声援を送っていただきました。

席種	A 価格	B 価格
スティーラーズ応援シート (エリア自由席)	大人	3,000円
	小中高	1,000円



ノエビアスタジアム神戸限定「ボックスシート」

ノエビアスタジアム神戸で開催の2試合(第1節、第3節)限定の席種として、バックスタンドの前段と後段に位置する4席セットでご利用いただけるテーブル付きのシートを販売しました。

ボックスシート(バック前段) **A 価格 24,000円 B 価格 22,000円**
ボックスシート(バック後段) **A 価格 20,000円 B 価格 18,000円**



前段でも後段でも、4席セットのテーブル付き



前段から見た光景

OFFICIAL GOODS

≫ オフィシャルグッズ

2025-26 シーズンは例年を上回る約 100 種類のグッズが登場！プレイヤーズネームタオルやベースボールキャップといった定番グッズのほかにも、バディフィギュアダック、プラモデル風キーホルダー、コーロクン・アイマスクピローなど”遊び心”のあるユニークなグッズに加え、『神戸タータン』『兵庫県の伝統工芸品』とコラボしたグッズも販売しました。



チーム公式グッズショップ
(ホストゲーム)



チーム公式グッズショップ
(ビジターゲーム)



チーム公式オンライングッズショップ
<https://www.kobesteelers.com/goods/>

2025-26シーズン新商品一例

推し活トートバッグ



ボンボン付き
ニットキャップ



adidas EPS バックパック



バディフィギュア
ダック



コーロクン・
アイマスクピロー



プラモデル風
キーホルダー

コラボグッズ

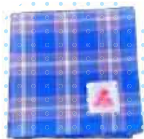
KOBE TARTAN



神戸タータン



オリジナルエコバッグ



オリジナルハンカチ



オリジナルバンダナ



兵庫県伝統工芸品



豊岡鞆 ハンドバッグ



HYOGO LEATHER
本革キーホルダー



播州織
巾着

丹波焼
お猪口・徳利セット

ホストゲームでのさまざまな取り組み

サンプル展示コーナー



実物を見て、触って、安心して購入していただけるよう、また初めてご来場いただいた方にも優しく「どんなグッズがあるのか」が一目でわかるようにサンプル展示コーナーを設置しました

会場受取サービス



事前にチーム公式オンライングッズショップで購入し、試合当日に会場で商品を受け取れるサービスを開始。欲しかったグッズが売り切れてしまう心配もなく、ゆっくりご来場いただけるメリットも

ノンメンバー選手のサイン会



チーム公式グッズショップおよび会場受取サービスにてグッズをご購入いただいた方を対象に先着にてノンメンバー選手のサイン会を行いました

KOBE "SMILE" PARK

≫≫≫ ホストゲーム試合会場イベント

ホストゲームでは毎試合、ご来場いただく皆さまに「笑顔あふれる空間」を体感していただけるよう、「KOBE "SMILE" PARK」と題し、場内外でさまざまなイベントを実施しました。また、伊藤 史隆アナウンサーによるラグビー観戦をより楽しんでいただける場内実況を今シーズンも継続したほか、応援コールのリニューアルなど、観戦体験の向上に取り組みました。



選手写真入りウェルカムボード



場内実況担当の
伊藤 史隆アナウンサー



なりきりキッカーフォトスポット



日付入りフォトスポット



ラグビー体験



トライ体験

応援コールをリニューアル

トップリーグ時代から続く定番コール「GO!GO!KOBE!!」はそのままに、スクラムやラインアウトの前などシチュエーションごとの応援コールを新たに設けました。



第1節 12月13日(土)

神戸新聞DAY

ノエビアスタジアム神戸
VSクボタスピアーズ船橋・東京ベイ



シーズン記念Tシャツ配布

応援メッセージ

第3節 12月27日(土)

ノエビアスタジアム神戸
VSトヨタヴェルブリッツ



ジャンボカラポン実施

第5節 1月17日(土)

大林組 MAKE BEYOND マッチ

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
VSリコーブラックラムズ東京



防災スポーツ®体験開催

第7節 2月7日(土)

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
VS静岡ブルーレヴズ



自衛隊コラボイベント

第9節 2月21日(土)

日本郵船スペシャルマッチ

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
VS埼玉パナソニックワイルドナイツ



貴島 明日香さん来場

推し活クリアポーチ配布

第11節 3月14日(土)

中嶋産業スペシャルマッチ

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
VS三菱重工相模原ダイナボアーズ



はたらくクルマ大集合

中嶋産業コラボタオル配布

第12節 3月20日(金・祝)

大和ハウスグループスペシャルマッチ

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
VS横浜キャノンイーグルス



オリジナルハリセン配布

神戸市消防音楽隊の生演奏

第16節 4月25日(土)

"K"LINEスペシャルサンクスマッチ

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
VS東京サントリーサンゴリアス



神戸市のスポーツチームのマスコットたちが大集合

川崎汽船コラボトートバッグ配布

第17節 5月2日(土)

東大阪市花園ラグビー場
VS三重ホンダヒート



オリジナルうちわ配布

MUFG ONE PARK

PUBLIC RELATIONS

≫ 広報活動

より多くの方々にチームの魅力や活動をお届けしたいとの思いからチーム公式 HP や SNS (Instagram、X、Facebook、TikTok、YouTube、LINE) を活用し、積極的に情報を発信。特に Instagram では選手の素顔に迫るコンテンツを投稿し、大きな反響を得ました。

HOMEPAGE 【チーム公式HP】



年間アクセス人数

81万9,063人

[昨年比 +66,317]

年間アクセス回数

189万5,914回

[昨年比 +227,765]

期間: 2025年6月1日~2026年5月31日

APP 【チーム公式アプリ】



マーケティング・エンゲージメントの強化を目的に公式アプリを運用。スタジアム来場時のチェックイン機能や選手の壁紙がもらえるウォーク機能など、スタジアム観戦がより楽しくなる機能が充実。今シーズンはホームゲーム9試合でPUSH通知を使ったお楽しみ-halfタイム抽選会を実施しました。

ダウンロード数

10,068 [昨年比 +428]

●主な機能

- ・チーム情報のPUSH通知
- ・試合来場時チェックイン機能
- ・ウォーク機能
- ・オリジナル動画や試合ハイライト等の視聴



SNS 【チーム公式アカウント】 [2026年5月31日時点]



28,772
FOLLOWERS
[昨年比 +1,508]



コーロクン X



1,310
FOLLOWERS
[昨年比 +219]



Facebook



9,528
FOLLOWERS
[昨年比 +785]



Instagram



65,979
FOLLOWERS
[昨年比 +10,582]



TikTok



6,857
FOLLOWERS
[昨年比 +1,659]



LINE



6,179
FOLLOWERS
[昨年比 +1,263]



YouTube



8,494
FOLLOWERS
[昨年比 +974]



OUT OF HOME MEDIA 【屋外広告】

神戸市を中心に試合告知およびチームPRを行いました。

試合告知・チームPR一例



JR三宮駅南側エリアのチーム紹介パネル



三宮フラワーロードの装飾パネル



HAT神戸の装飾パネル



阪神電鉄「御影駅」[岩屋駅]のチーム装飾



山陽電鉄「西代駅」[板宿駅]「山陽明石駅」[播磨町駅]「荒井駅」[山陽姫路駅]「別府駅」の看板装飾

MEDIA 【メディア露出実績】

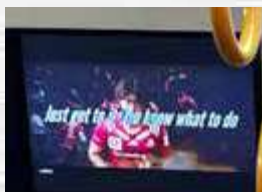
リーグワン初優勝という快挙を契機に多くのメディアに取り上げられたことでチームの認知度が向上し、新たなファンとの接点創出に繋がりました。

メディア露出一例



媒体名

神戸新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、日経新聞、神戸経済新聞、スポーツニッポン、デイリースポーツ、サンケイスポーツ、スポーツ報知、日刊スポーツ、ベースボールマガジン社、日本テレビ、NHK、関西テレビ、毎日放送、読売テレビ、サンテレビ、Kiss FM KOBE ほか



JR、阪急、阪神、神戸市営地下鉄の三宮エリア主要駅と阪神「梅田駅」のデジタルサイネージ

阪神電鉄、神戸市営地下鉄の車内中吊り広告

神戸市営地下鉄の車内ビジョン

JR西日本管轄エリアの車内ビジョン

PARTNER ACTIVITY

》》 パートナーアクティビティ

2025-26シーズンにおいては、195社のパートナー企業にサポートいただくとともに、さまざまなアクティビティを通じてスティーレルメイツの皆様はもちろん、ホストエリアである兵庫県・神戸市を共に盛り上げていただきました。



2025-26シーズン パートナー決起集会を実施



3月20日(金・祝)の第12節にて2022年から5シーズン継続してチームをご支援いただいている35社のパートナー企業の皆様へ、感謝の意を込めたセレモニーを行い、代表して大和ハウス様に記念の盾を贈呈



ホストゲームでファーストライした選手にナブコドア賞を贈呈 (ナブコドア様)

マッチデー [6試合]



第1節 クボタスピアーズ船橋・東京ベイ戦 (神戸新聞社様)



第5節 リコーブラックラムズ東京戦 (大林組様)



第9節 埼玉パナソニックワイルドナイツ戦 (日本郵船様)



第11節 三菱重工相模原ダイナボアーズ戦 (中嶋産業様)



第12節 横浜キャノンイーグルス戦 (大和ハウス工業様)



第16節 東京サントリーサンゴリアス戦 (川崎汽船様)



ホストゲームでプレーヤー・オブ・ザ・マッチ受賞者に副賞としてコベルコ神戸ビーフ賞を贈呈 (神戸肉流通推進協議会)



第11節 三菱重工相模原ダイナボアーズ戦でオリジナルラッピングショベルを展示 (コベルコ建機様)



ホストゲームでの車両展示 (ヤナセ様)

ホストゲームでのブース出店



コラボビールの販売
(丹後王国ブルワリー様)



日本酒の販売
(灘五郷酒造組合)



大和ハウス工業株式会社
「石橋信夫記念館・総合技術研究所」を訪問
(大和ハウス工業様)



自社製品(ムテキッズ)のサンプリング
(キリンビバレッジ様)



自社製品のサンプリング
(ジー・キューブ様)



SNSでの新商品のご紹介やキャンペーンのタイアップ
(キリンビバレッジ様)



自社製品・コラボ商品の販売
(エース様)



キッチンカーの出店
(八雲建設様)



小学生卒業記念交流戦、
神戸スティーラーズカップへのご協力
(くら寿司様)



法人シーズンシート
今シーズンは、46社の企業にご協賛いただきました。
4月25日(土)の第16節では、試合前に
ウォームアップ見学会を実施



ホストゲームでチームグッズを購入した方へ
ドリンクプレゼント
(キリンビバレッジ様)



小学生の見守り隊活動や会社周辺の清掃活動へのご協賛
(こくみん共済様、シスメックス様)



2025-26シーズン パートナー報告会を実施



豚饅贈呈
(老祥記様)

SEASON SUMMARY

≫ シーズンサマリー

	2021-22 シーズン	2022-23 シーズン	2023-24 シーズン	2024-25 シーズン	2025-26 シーズン
ヘッドコーチ	デーブ・ディロン	ニコラス・ホルテン	デイブ・レニー	デイブ・レニー	デイブ・レニー
キャプテン	橋本 大輝	橋本 皓	プロディ・レタリック / 山下 楽平 (共同キャプテン制)	プロディ・レタリック / 李 承信 (共同キャプテン制)	プロディ・レタリック / 李 承信 (共同キャプテン制)
バイスカプテン	橋本 皓 / 李 承信	中島 イシレリ/李 承信			
リーグ戦勝敗数(勝点)	7勝9敗(勝点36)	5勝11敗(勝点25)	9勝6敗1分(勝点45)	10勝8敗(勝点51)	16勝2敗(勝点75)
リーグ戦順位	7位	9位	5位	5位	1位
最終順位	7位	9位	5位	3位	優勝
選手数	57名	56名	56名	57名	57名
チームスタッフ数	41名	39名	42名	45名	46名
フロントスタッフ数	16名	21名	23名	22名	22名
ホストゲーム総観客数 (開催数)	33,045人(7試合)	50,289人(8試合)	84,770人(8試合)	72,447人(9試合)	88,861人(9試合)
ホストゲーム平均観客数	4,721人	6,286人	10,596人	8,050人	9,873人
リーグ全体のホストゲーム 平均観客数(D1チーム)	4,213人	5,744人	8,927人	7,908人	8,900人
パートナー社数	38社	99社	165社	180社	195社
サポートステーション数	37sta.	38sta.	216sta. (うちサポートコース180sta.含む)	102sta.	223sta.
ファンクラブ会員総数	8,068名	10,871名	16,038名	7,611名	9,598名
有料会員数	4,611名	5,373名	7,533名	6,518名	6,237名
無料会員数	3,457名	5,498名	8,505名	1,093名	3,361名
会員性別比率(男性)	65%	63%	62.5%	66.9%	67.1%
会員性別比率(女性)	28%	30%	30.5%	32.6%	32.3%
チームHP 年間アクセス人数	505,686人 2021年6月1日～2022年5月31日	557,003人 2022年6月1日～2023年5月31日	898,645人 2023年6月1日～2024年5月31日	752,746人 2024年6月1日～2025年5月31日	819,063人 2025年6月1日～2026年5月31日
チームHP 年間アクセス回数	1,275,432回 2021年6月1日～2022年5月31日	1,488,950回 2022年6月1日～2023年5月31日	1,875,953回 2023年6月1日～2024年5月31日	1,668,149回 2024年6月1日～2025年5月31日	1,895,914回 2025年6月1日～2026年5月31日
チームニュース配信数	268件 2021年6月1日～2022年5月31日	470件 2022年6月1日～2023年5月31日	539件 2023年6月1日～2024年5月31日	583件 2024年6月1日～2025年5月31日	572件 2025年6月1日～2026年5月31日
チーム公式アプリ ダウンロード数	2,655 2022年7月4日時点	4,018 2023年5月31日時点	8,817 2024年5月31日時点	9,640 2025年5月31日時点	10,068 2026年5月31日時点
X Xフォロワー数	18,133 2022年7月4日時点	21,910 2023年5月31日時点	25,445 2024年5月31日時点	27,264 2025年5月31日時点	28,772 2026年5月31日時点
X コーロクン X フォロワー数	—	—	825 2024年5月31日時点	1,091 2025年5月31日時点	1,310 2026年5月31日時点
Facebook フォロワー数	7,082 2022年7月4日時点	7,361 2023年5月31日時点	7,830 2024年5月31日時点	8,743 2025年5月31日時点	9,528 2026年5月31日時点
Instagram フォロワー数	32,636 2022年7月4日時点	35,305 2023年5月31日時点	50,692 2024年5月31日時点	55,397 2025年5月31日時点	65,979 2026年5月31日時点
TikTok フォロワー数	—	—	1,894 2024年5月31日時点	5,198 2025年5月31日時点	6,857 2026年5月31日時点
LINE登録数	1,872 2022年7月4日時点	2,609 2023年5月31日時点	3,482 2024年5月31日時点	4,916 2025年5月31日時点	6,179 2026年5月31日時点
YouTube 登録数	3,940 2022年7月4日時点	5,540 2023年5月31日時点	6,829 2024年5月31日時点	7,520 2025年5月31日時点	8,494 2026年5月31日時点
YouTube 総再生数	382,595 2022年7月4日時点	1,120,697 2023年5月31日時点	1,597,128 2024年5月31日時点	1,905,785 2025年5月31日時点	2,329,834 2026年5月31日時点

OFFICIAL PARTNERS

》》》 オフィシャルパートナー一覧

※2026年3月31日時点

PREMIUM PARTNER



GOLD PARTNERS



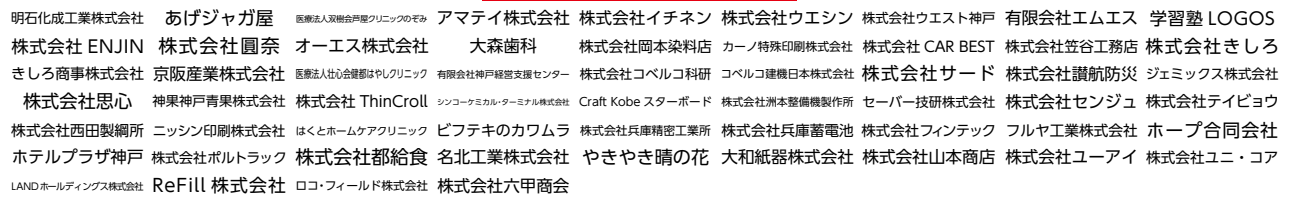
SILVER PARTNERS



BRONZE PARTNERS



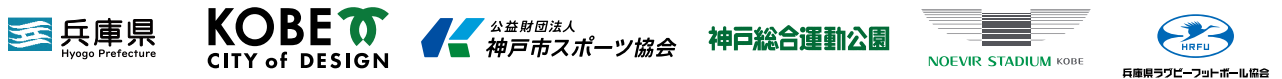
STEEL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS



HOST AREA PARTNERS



PROMOTION PARTNERS



KOBELCO

SMILE TOGETHER

KOBELCO
120th ANNIVERSARY
PROJECT

120

神戸製鋼所は2025年9月1日に創業120周年を迎え、これまでKOBELCOグループを支えてくださった皆様と今後も継続的に発展していくことを目指し、創業120周年プロジェクトを実施しました。周年を記念して制作したアニメーション「あしたのありか」も公開中です。ぜひご覧ください!



「アニメ特設ページ」は
こ55